

# 平成30年度 政策研究チーム報告書



平成31年2月



【研究テーマ】

青少年の声を生かした朝霞のまちづくりを考える  
～賑わいの創出など新しい朝霞をつくるために～

月  
日  
曜  
日

【期間】 平成30年4月から平成31年3月まで



【チームメンバー 全10人】

高校班 危機管理室 矢島 諒介 (チームリーダー兼班長)  
環境推進課 鈴木 正樹 長寿はつらつ課 山崎 雅之  
収納課 下池 恵里 課税課 栗原 美花

大学班 教育総務課 袴田 智之 (班長) 監査委員会事務局 寺元 親子  
保険年金課 小笠原 絢子 開発建築課 吉弘 紅童  
市政情報課 渡部 舞



任命式の様子

## 目次

第1章 研究テーマ	1
1 テーマ設定の背景	1
2 活動の目的と方針	3
第2章 活動報告	5
1 活動方法	5
2 活動内容	7
(1) 高校生班	7
1) 経緯	7
2) 内容	12
3) まとめ	38
(2) 大学生班	40
1) 経緯	40
2) 内容	46
3) まとめ	67
(3) 他課から依頼されたアンケート	73
1) 経緯	73
2) 内容	75
3) まとめ	88
第3章 提言	89
あとがき	91
付録	
1 学生の声	
2 彩夏祭アンケート	

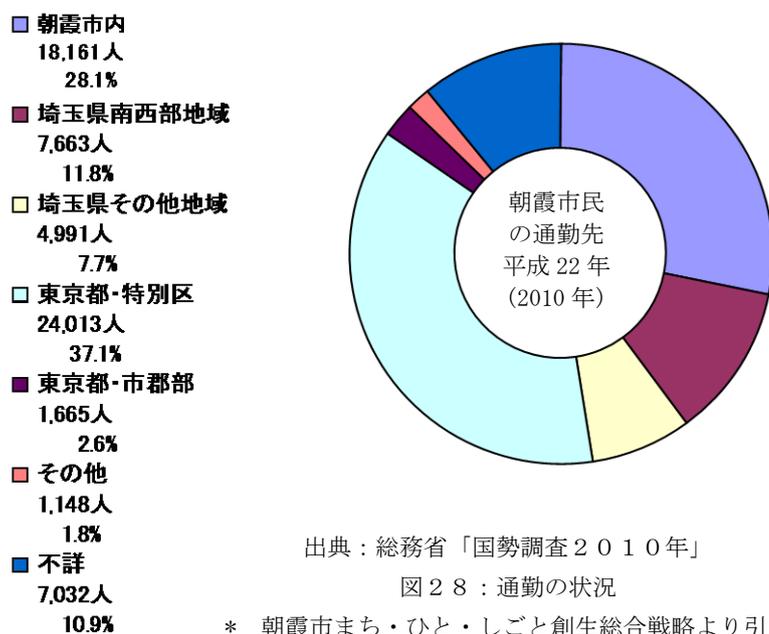
## 第1章 研究テーマ

### 1 テーマ設定の背景

朝霞市は、都心から20km圏に位置するという地理的条件に恵まれ、武蔵野の面影が残る緑の多い住宅都市として、着実な発展を遂げている。

こうした環境のもと、平成29年3月15日に市制施行50周年という節目を迎え、市が一段と成熟し、次の世代へつなぐための新たな一歩を踏み出したところである。

朝霞市民の通勤の状況を見ると、下記のグラフが示すとおり市外への通勤が過半数を占めており、中でも東京都・特別区への通勤が最も多い。市民アンケートでも、本市に住むことを決めた理由の第1位が「通勤・通学に便利である」となっていることから、東京都で働く人のベッドタウンとして機能していることがわかる。



また、男女とも30代後半で転出数が増える傾向が見られるほか、10歳未満は転出超過となっており、子育て世帯が、子どもの就学や住宅取得のタイミングで転出するケースが多いと考えられている。

本市では、「私が暮らしたいまち 朝霞」を将来像に掲げ、その実現に向けて計画的な行政運営を行うことを目的として、「第5次朝霞市総合計画」の策定をした。第5次朝霞市総合計画は、将来の行政需要やまちづくりの方向性等を総合的かつ体系的にまとめた本市の最上位計画であり、計画の対象となる期間を平成28(2016)年度から平成37(2025)年度までの10年間としている。第5次朝霞市総合計画が施策を網羅している一方で、本市の将来人口の減少に歯止めをかけるために導き出された課題に対応する重点的な施策をまとめるために、平成28(2016)年に「朝霞市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定された。

その中では、転居の際、多くの人に居住先として朝霞市を選択していただけるようまちの魅力をPRし、市民であることを誇れて、長く住みたいと思えるまちを目指すこと、年齢や障害の有無、国籍等に関係なく、みんなが交流し、支え、助け合う、安全・安心な地域づくりを進め、また、地域コミュニティを活性化することで、人と人がつながり、生きがいを持って安心して暮らしていけるまちを目指すことなどを目標として掲げている。

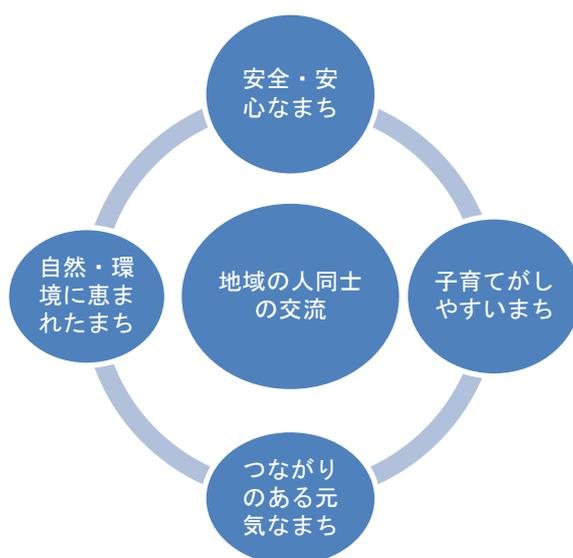
それらを踏まえ、私たちは、「暮らしたいと思えるまちづくり」を実現するためには、10年後、20年後に朝霞市の中心を担う高校生や大学生等、自由で柔軟な発想をもつ青少年たちの声をカタチにしていく必要があるのではないかと考え、研究テーマを「青少年の声を生かした朝霞のまちづくりを考える」とした。

## 2 活動の目的と方針

本市の「第5次朝霞市総合計画」の基本構想は、「私が暮らしたつづきたいまち朝霞」を将来像とし、「安心・安全なまち」、「子育てがしやすいまち」、「つながりのある元気なまち」、「自然・環境に恵まれたまち」という将来像実現のための4つの基本コンセプトで構成されている。

市民意識調査によれば、地域活動への参加状況として、積極的に参加している人は1割前後にとどまり、また、近所づきあいについても5割が「あいさつをする程度」、1割が「近所づきあいをしていない」結果となっており、地域コミュニティの希薄化が読み取れる。SNSが普及している現在、相手の顔を見なくともコミュニケーションをとることができる。場所や時間を問わないので参加しやすく、情報発信や収集の手段として気軽に他者と関わることができる一方で、集団の中で人間関係がうまく築けない、心を開いて悩みを相談できる相手がないなどの状況に陥り孤立してしまうなどの状況も懸念される。

朝霞市に住んでいる人たちは朝霞市のことを知ってくれているだろうか、まずは朝霞市にどんな魅力があるか知っていただき、イベントなどに参加していただくことで人と人との交流が生まれ、地域との付き合いが深まれば、あいさつや自然な声かけができ、住民同士支えあい、助けあうことができる温かみのある魅力あるまちになるのではないかと考えた。



そこで、私たち政策研究チームでは、朝霞市に何らかの形で関わりのある青少年たちの生の声を聴き、ともに活動することで見えてくる”住み続けたい”、”選ばれる”まちが将来像実現のための4つの基本コンセプトに繋がっていくのではないかとの思いから、青少年の柔軟な発想を生かした「まちづくり」のため話し合いを重ねていくこととした。

## 第2章 活動報告

### 1 活動方法

#### (1) 青少年の意見を効果的に把握するために

青少年の意見探るため、①どの年代を“青少年”とするか、②意見収集の媒体はなにがあるか、③どのように意見を収集するのか、について議論することから始めた。

その際、他自治体の先進事例（福井県鯖江市 JK 課等）の資料を取り寄せ、参考とした。

#### ①どの年代を“青少年”とするか

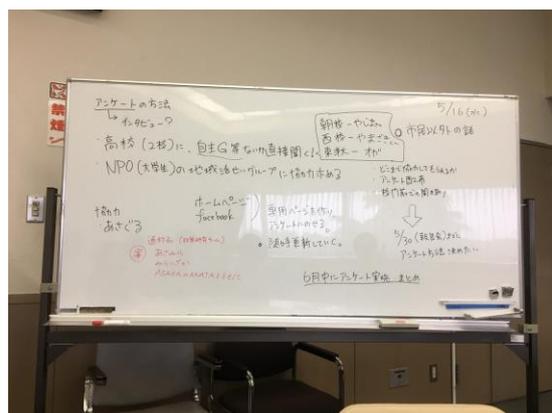
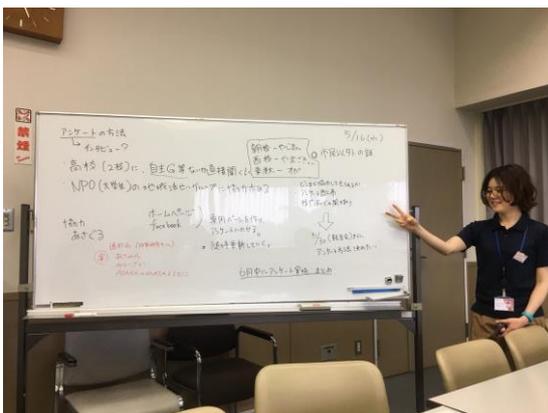
青少年の定義として「子ども・若者育成支援推進法」に基づく大綱が0歳から30歳までを対象としているが、本チームではもう少し狭義として、概ね15歳から25歳までとした。

#### ②意見収集の媒体はなにがあるか

青少年の意見を把握するには、市ホームページ、Facebook、Twitterだけでなく、職員の自主研究グループあさぐるや、学生が主体の地域活性化グループ（NPOなど）を活用する方法がある。

#### ③どのように意見を収集するのか

②で上げたものを活用し、インタビューやアンケートを実施する。その際、直接顔を合わせて意見を収集するために、学校の正門などで街頭アンケートを実施する方法も効果的ではないかとの意見も出た。



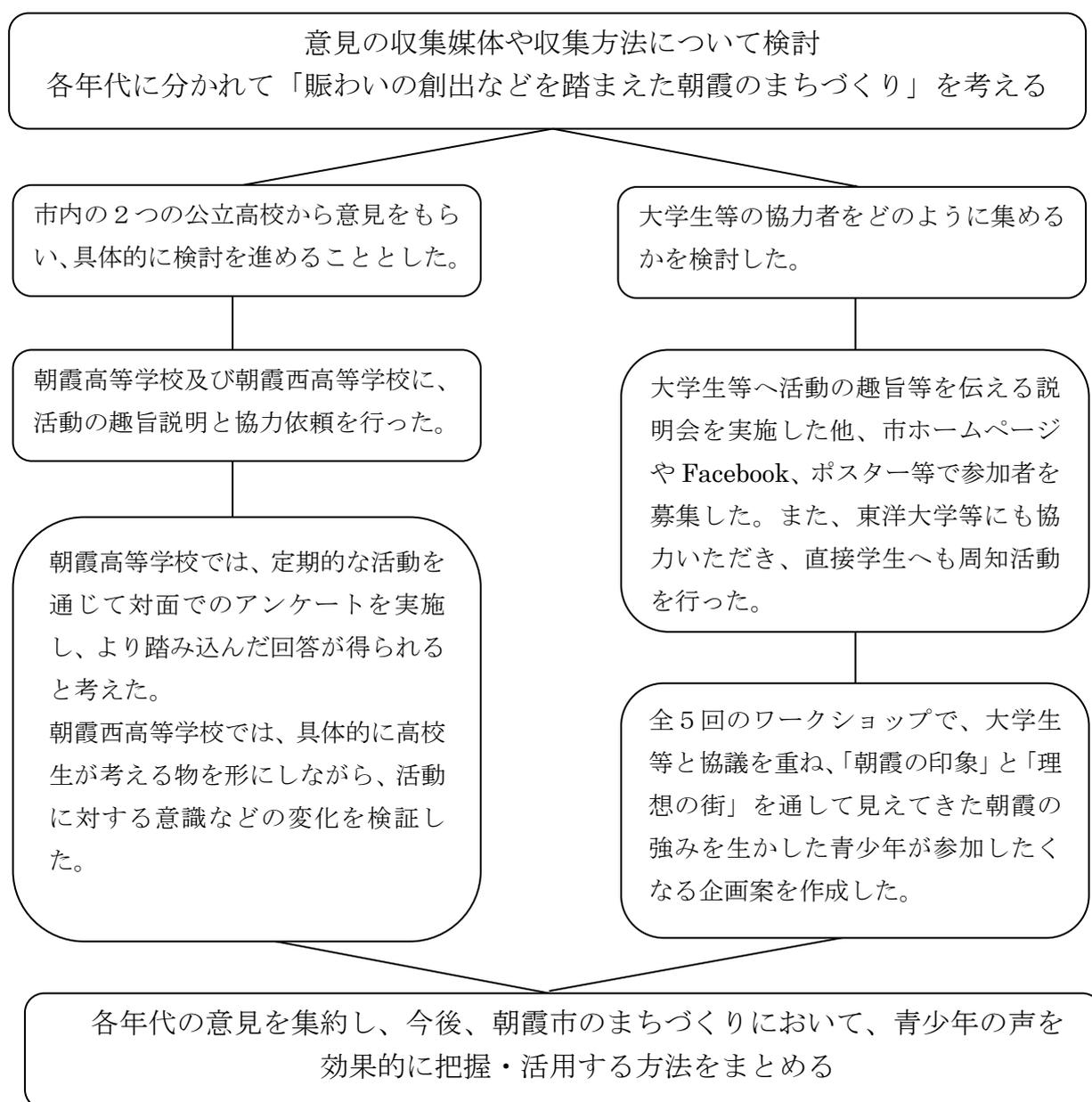
(2) 対象者の決定と今後の活動の流れ

(1) をもとに、まずは、対象者を具体的に絞ることとした。

①で年代を概ね15歳から25歳程度とし、その年代には高校生や大学生、専門学生、社会人が含まれるが、ライフステージによって興味あることやアイデアなどが全く異なる。また、各世代を一同に集めて、意見がまとまるのかとの疑問もあった。

そこで、市内にある学校を中心に「高校生から意見を収集する班」と「東洋大学生を中心とした大学生班（専門学生や社会人含む）」に分かれて検討していくこととした。

②、③については、担当に分かれて議論を進めたため、詳細は次節で説明をする。



## 2 活動内容

### (1) 高校生班

#### 1) 経緯

前節で述べた高校生との活動をするにあたり、私たち高校生班のメンバーは、高校生にいかにかこの活動に参加してもらうかについて検討した。

今回の活動を行うには高校生の参加が必須であり、参加方法として「高校生の自主参加」、「学校側からの紹介」、の2つが挙げられたため、それぞれの参加方法について課題等を列挙した。

まず、「高校生の自主参加」については、今回の活動に興味を持ってもらった高校生に参加をしてもらえれば、意見等がより多く出ることが期待でき、実施できればかなりの成果が期待できることが見込まれた。ただし、その参加にあたり、活動の周知が必要となるが、市の通常の周知方法だとホームページやSNSの活用、ポスターの掲示等となるため、高校生の目に留まるのかが不確かであった。活動の周知を確かなものとするためには、確実に高校生の目に留まる、学校内へのポスターの掲示や、校門前でのチラシ配布等を行う必要があった。また、活動の周知ができたとしても、実際に高校生が参加してくれるかは分からないため、参加者がいなければ活動自体が頓挫することとなってしまう。更に、高校生は未成年であることから、活動場所や活動時間、保護者の了承等についても考慮する必要もあることが挙げられた。

一方、「学校側からの紹介」については、前述同様に活動場所や活動時間、保護者の了承等について考慮することは勿論必要だが、活動の周知にあたっては必要最低限に抑えられることが見込まれた。また、参加者が確実に得られるため、活動の実施が期待できた。ただし、自主参加ではないため、この活動に興味がない高校生も参加してもらうこととなり、意見等が出るのかが懸念された。その懸念を払拭するためには、活動に興味がありそうな高校生を紹介してもらう必要があるが、私たちにはどんな高校生がこの活動に興味を持ってくれるのか判断がつかず、生徒会に属する生徒なら興味を持つのではないかという考えに至った。

最終的に、高校生をこの活動に取り込むにあたり、高校生の自由参加にするのか、学校側から活動に適した生徒を紹介してもらうのか、どちらにするにしろ、高校の協力が不可欠であると結論付けた。

そこで、次に行ったのが高校への協力依頼である。埼玉県立朝霞西高等学校（以下、「朝霞西高校」という。）に連絡をし、教頭先生とお話しをさせて頂く機会を設けることができた。

6月中旬に朝霞西高校を訪問し、活動の主旨を説明すると共に、前述の私たちの考えを伝え、朝霞西高校にどのような協力をしてもらえるか確認したところ、次のような回答が得られた。

まず、活動日は学業が優先されるのでテスト期間中は避けること。活動場所は放課後の校舎の空き教室等を使用しても良いが、教師を同席させてもらう。また、活動時間については放課後が望ましいが、夕方までに終わらせること。

次に、高校生の活動への参加について、自主参加にする場合に校門前で活動の周知をするのは構わないが、通行者等への配慮をしてもらいたい。しかし、実際に自主参加となると、高校側としてはどの生徒が参加するのか等の把握が難しくなるのが懸念材料となってくる。また、生徒会の紹介も可能だが、朝霞西高校では生徒会主体の活動が多く、特に9月に行われる文化祭の準備があるため、今回の活動期間で協力するのは難しいと思われる。そのため、紹介するのは生徒会ではなく、他の部活動単位ではどうか。朝霞西高校では地域貢献が大切だと考えており、今までも市から様々なボランティア要請があった際に部活動単位での協力を行っている。その場合、継続的な活動になると思われるため、文化部の方が参加できる回数は多いのではないかと。部活動単位での参加となれば、部活動の一環として扱うことができるため、保護者の了承もいらなくなるのではないかと。

以上の回答を元に、私たち高校生班は朝霞西高校に部活動単位での参加協力を依頼することとし、活動期間は11月中旬頃まで、部活動の選出については教頭先生に一任することとした。

選出の結果、朝霞西高校の漫画研究部に今回の活動に参加してもらうこととなった。初回の活動は、一学期の期末試験終了後から終業式までの間の短縮授業となる7月中旬に行うこととなり、初回の活動に向け、当日の実施内容の検討に移った。

**政策研究チームについて 説明します**

朝霞市政策研究チーム 矢島、山崎、下池、森原、鈴木  
平成30年7月 日 埼玉県立朝霞西高等学校

**子ども政策研究チームって何？**

1年毎にメンバーとテーマが一新される、朝霞市役所の各部署から選出された若手職員チーム

今年のテーマは・・・

青少年の声を生かした朝霞のまちづくりを考える  
～賑わいの創出など新しい朝霞をつくるために～

**メンバー紹介 ～高校生班～**

矢島 諒介 (やじま りょうすけ)  
危機管理室  
野球バカ  
リーダー型で、いろいろなことが得意。

山崎 雅之 (やまざき まさゆき)  
長寿はつらつ課  
登山・自転車好き

鈴木 正樹 (すずき まさき)  
環境推進課  
家庭菜園好き

下池 恵里 (しもいけ えり)  
収納課  
リラクマ好き

森原 美花 (くわはら みか)  
課税課  
天房員好き

**今後の活動**

高校生  
中学生  
大学生  
新社会人

◎があることもっと市の魅力が伝わるんじゃないか

e + c = ...  
高校生の意見を私たち高校生班が、大学生の意見を大学生班がそれぞれ聞いて、家財に向けて一緒に考え・実行していく

若者向けのイベントが見たいから増やしたい！

まず、今回の活動方針を決める必要があるが、それは高校生ならではの自由な意見や発想に基づくものが望ましいと考えた。私たちがテーマを与えてしまうと、そのテーマに左右されてしまい、高校生ならではの意見にならなくなってしまふことが懸念されることから、高校生自身に考えてもらうことが必要となる。しかし、いきなり高校生に「まちづくりについて考えてください」と漠然と聞くと高校生自身も回答に苦慮してしまうことが想定される。また、私たちが求めているものは表面的なものではなく、自由な意見に基づくものであったため、果たして初対面の私たちに対し、そこまで自由に意見を発せられるのかと疑問が生じた。そこで、私たち高校生班は、参加する高校生が自由に意見を発信しやすい場を作り、そこで出た高校生が普段思っていることや感じていることの中から、まちづくりに繋がられるような意見を抽出し、それを発展させることで今回の活動方針を決めていけないかと考えた。

そのため、初回の活動では私たち政策研究チームの紹介は行うが、その後は高校生の中に入り、普段の生活や朝霞に対するイメージ、朝霞に欲しいものなどを自由に言ってもらふこととした。また、その中で行う政策研究チームの紹介についても、高校生に見てもらふやすいよう朝霞市キャラクター「ぽぽたん」やシンボルマークを使用し、紹介資料も少ない枚数で作成することとした（高資料-1・2）。



高資料-2

活動初回、朝霞西高校漫画研究部の生徒15人が参加。場所は漫画研究部の活動場所となっている朝霞西高校の家庭科講義室で行った。最初に政策研究チームの紹介を簡単に済ませたあと、人数が多かったため2つのグループに分かれてもらい、自由に意見を出してもらった。（高資料-3）

初回の活動に参加してくれた15人のうち、朝霞市内在住は4人。話をする中で、市外在住の生徒は通学時しか朝霞市との関わりがなく、朝霞市のことをあま



高資料-3

り知らないという声が挙がった。また、政策研究チームの紹介の際にぼぼたんを使用した。その日に初めて知った生徒もいた。そのぼぼたんを使用してスマホゲームとコラボしたら面白いという意見や、朝霞市の特産物や名所を擬人化して漫画を作成し、朝霞市を紹介したり朝霞市内巡りをしてもらったりしてはどうか、という意見が出た。

なお、普段は SNS を活用しており、LINE や Instagram、Twitter を使用し、情報収集手段としては、Twitter を使用することが多いが、朝霞市の Twitter を見たことがある生徒はいなかった。SNS 関連の意見としては、インスタ映えが挙がり、インスタ女子の影響力は強いのでインスタ映えスポットがあれば、朝霞市のことをたくさんの人に知ってもらえる

機会になるというものが出た。

その他、普段遊ぶ際も、朝霞市内だと遊べる場所が限られるため、大型ショッピングモールやファーストフード店が増えると嬉しいという声や、他の自治体で行っていたコンビニとの商品コラボができれば楽しそうとの声が挙がった。

初回の活動は、当初の活動予定時間を超えてしまい、3 時間程度になったが、多くの意見を聞くことができた。出てきた意見の中から、私たち高校生班で今回の活動で行えそうな意見を抽出し、5 つの意見に焦点を当てた。その出てきた 5 つの意見についてそれぞれ精査し、今回の活動期間を踏まえたうえで、次のとおり活動テーマを設定した。

#### <活動テーマ>

##### 1. 市内飲食店とのコラボ

→コンビニとの商品コラボという意見が出たが、活動期間が 1 1 月中旬頃までと短期間なことから、実現まで至らないと判断し、実現の可能性が高い市内飲食店とした。

##### 2. 市内マップづくり

→朝霞市内を紹介し、市内巡りをしてもらうという意見が出たので、そうい

ったマップを作れないかと考えテーマを設定した。

3. 基地跡地・シンボルロード（以下、「基地跡地」という。）にスタバや他飲食店を誘致

→大型ショッピングモールやファーストフード店が増えると嬉しいという意見から、活用方法を検討している基地跡地への誘致へと焦点を当てた。これについては、活動期間中に誘致案を作成するところまで実施することを想定している。

4. インスタ映えスポットの創出・発見

→インスタ映えスポットがあれば朝霞市のことをたくさんの人に知ってもらえる機会になるという意見から、インスタ映えスポットそのものを創出する、もしくは、私たちがまだ気付いていない市内のインスタ映えスポットを発見できないかと考えテーマを設定した。

5. 擬人化した漫画作成

→朝霞市の特産物や名所を擬人化して漫画を作成したら面白いという意見より、テーマを設定した。

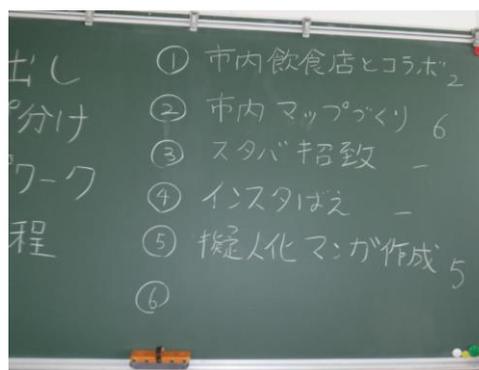
第2回の活動は、7月下旬に実施した。

活動場所は前回同様、朝霞西高校の家庭科講義室で、生徒13人が参加し、初回の振り返りをすると共に、5つの活動テーマについて話した（高資料-4）。

5つの活動テーマ以外に別の活動テーマを考える時間を設けたところ、ミニ四駆大会の開催や基地跡地にスタバやガストなどのみんなが集える場所を作る、というような意見が出た。

今まで出てきた活動テーマの中で、高校生が実際にやりたいと思ったことを選んでもらったところ、「市内飲食店とのコラボ」、「市内マップづくり」、「擬人化した漫画作成」の3つに分かれたため、それ以降の活動はそのテーマ毎にグループに分かれて行うこととした。

2) では、グループ活動毎に活動内容の報告をしていく。



高資料-4

## 2) 内容

### 第1回グループ活動（グルメ担当）

日 時	平成30年7月26日（木） 15時00分～17時00分
場 所	朝霞西高校 家庭科講義室
出席者	高校生2人 職員1人
内 容	<p>テーマ毎の活動グループに分かれたあと1時間程度打ち合わせを行った。</p> <p>&lt;グルメ担当の活動目的&gt; 市内の飲食店とコラボして、自分たちの考えた商品が市内の飲食店及び催し物などで販売されることを目的として活動する。</p> <p>&lt;商品のアイデア抽出&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・簡単に食べられるもの。</li><li>・ベジグルメ×高校生×市内の飲食店。 その際は、市内の特産野菜であるニンジンを使用する。</li><li>・金額が安いこと、作るのに手間がかからないことが重要。</li><li>・野菜パフェ（野菜フレーク、ニンジンエキス入り生クリーム、ニンジンアイス）</li><li>・パフェ風野菜スティック（スティック野菜やレタスを用いてパフェ風にする）</li><li>・ニンジンバーガー（バンズやパティにニンジンを使う、人参しりしりをはさむ）</li><li>・ニンジンデザート（ニンジンかき氷+ニンジンソフト+ニンジンソース）</li></ul> <p>&lt;次回までの課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・次回までに、高校生は、自分たちが作りたい、食べたいメニュー（斬新なものも最低1つ以上）考えてくる。職員は、どのようなお店がコラボしてくれるのか、また、産業振興課が今後どのように動くのかを確認する。</li></ul>

第2回グループ活動（グルメ担当）

日 時	平成30年8月24日（金） 9時30分～11時30分
場 所	朝霞西高校 家庭科講義室
出席者	高校生2人 職員1人
内 容	<p>夏休みの部活の活動日に、グループでの打ち合わせを行った。</p> <p>&lt;商品のアイディア抽出を行う&gt;          高校生に商品のアイディアを発表してもらおう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生地になんじんを練りこむような商品がよい。</li> <li>・人参の色のきれいさと甘さをアピールしたい。</li> <li>・女性ウケするものが作りたい。</li> <li>・生地になんじんを練りこんだたこ焼き。</li> <li>・見た目がたこ焼きのスイーツ。生地はホットケーキでソースとマヨネーズはチョコで作るなど。</li> <li>・しゅうまい。豆腐ハンバーグのような生地になんじんを練りこんでピンクにする。グリーンピースの代わりになんじんムースを乗せる。</li> <li>・なんじんを薄くスライスしたもの（ライスペーパーのようなものを想定）にアスパラなどの野菜やお肉を巻いて焼く又は蒸す</li> <li>・なんじんの形をした上生菓子</li> </ul> <p>&lt;次回までの課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベジグルメとコラボできるかを産業振興課に確認する。</li> <li>・高校生とのコラボ商品作成に協力してもらえそうな市内の店舗をピックアップする。</li> </ul>



第3回グループ活動（グルメ担当）

日 時	平成30年9月11日（火） 10時00分～11時00分
場 所	朝霞市役所 503会議室
出席者	職員2人
内 容	<p>産業振興課の「あさか野菜 de ベジグルメ」打合せに参加。 ベジグルメのアドバイザーである野菜ソムリエ Canaco さん（以下「Canaco さん」という）と初顔合わせを行う。</p> <p><b>メニュー作成ミーティング日程（案）</b></p> <p>①10月 2日（火） 14：00～15：00          ②10月17日（水） 13：00～15：00          ③10月19日（金） 13：00～15：00          ④10月22日（月） 13：00～15：00          ⑤10月25日（木） 13：00～15：00</p> <p>※中間考査のため、10月9日（火）～19日（金）の高校生の参加は不可</p> <p><b>イベント日程</b></p> <p>①11月17日（土）・18日（日）          「食と農林業ドリームフェスタ」 朝霞の森          ②11月25日（日）          「農業祭」 朝霞市中央公民館          ③2月3日（日）          「産業フェア」 産業文化センター</p> <p>※②の農業祭は、修学旅行中のため朝霞西高校2年生の参加は不可。</p> <p>&lt;課題&gt;          メニュー作成ミーティングとイベントに、それぞれ1回以上高校生に参加してもらいたいが、活動日程が授業時間内や休日になるため、参加できるか調整が必要。場合によっては、グルメ班以外からも協力を得たい。</p>

第4回グループ活動（グルメ担当）

日 時	平成30年9月15日（土） 9時00分～12時00分
場 所	市内公共施設等
出席者	高校生2人 職員2人

内 容

高校生と共にメニュー開発をしていただけないかを、飛び込みで市内の店舗に聞き込みを行う。  
6店舗の予定だったが、時間の都合上5店舗となる。ルミエールは午前中が忙しいとのことで、店内視察のみ行った。



< 協力

依頼店舗 >

	業種	事業社名	所在地	営業時間	定休日	問い合わせ先
1	パン	ルミエール	本町 2-7-34-103	7:00～18:30	火・第2日・第4日	048-424-5674
2	喫茶店	COFFEE MOAT	仲町 1-11-37	水・木・金 11:00～15:00 16:00～20:00	火・第3水	048-469-2000
3	洋菓子	TEKU TEKU	西弁財 1-11-12-101	10:00～18:00	日・月	048-212-6010
4	カフェ	JAMES	西弁財 1-5-13	11:00～23:00(平土) 11:00～18:00(日)	月	048-466-6577
5	カフェ	トモソダチ café COZY	大字浜崎 669-1	10:00～18:00	不定休(木が多い)	048-485-9923
6	カフェ	café うららか	大字溝沼 493-1 金山ビル1F	11:00～19:00	月・第1・3・5日	048-485-9567

後日、電話で意向確認をしたところ、ルミエールと、トモソダチ café COZY（以下、「COZY」という）が、高校生とのコラボ商品開発に協力してくれることになった。

#### 第4回グループ活動（グルメ担当）

	<p>&lt;次回までの課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• ルミエール 高校生にパンのアイデアを考えてもらい、それをルミエールに伝える。 9月25日（火）に、高校に対しアンケートを送付。 次回の活動日10月19日に提出してもらう。</li><li>• COZY 高校生の意見を基にどのような商品を作ることが可能かを打診する。</li></ul>
--	---

第5回グループ活動（グルメ担当）

日 時	平成30年10月17日（水） 15時00分～17時00分
場 所	産業文化センター
出席者	職員2人
内 容	高校生とコラボメニューを開発してもらえることになった COZY、Canaco さん、職員で打合せを行う。 高校生は中間試験前のため参加しない。

第6回グループ活動（グルメ担当）

日 時	平成30年10月19日（金） 13時00分～17時00分
場 所	産業文化センター
出席者	高校生2人 職員2人
内 容	<p>朝霞西高生と5回目の打合せ（校外活動）を行う。</p> <p>&lt;高校生にドリームフェスタへの参加を打診&gt;          グルメ担当の高校生2名は、17日に時間をずらしそれぞれ3時間ずつ参加してもらう。マップ担当とマンガ担当からも4人ほどドリームフェスタに参加してもらうよう依頼をする。</p> <p>&lt;COZY・Canacoさんと打合せ&gt;          ・COZY・Canacoさん・西高生2名と、ベジグルメの打合せを行った。          ・ドリームフェスタに向けて、ぽぽたんパフェを作る方向で打合せ。          ・人参白玉（にんたま）、さつまいもチップス、バニラアイス、おこしなどを小さい容器に盛り付けぽぽたんに見立て、300円程度で販売する。課題は、ぽぽたんの綿毛をどう表現するかと、パフェにするにはあといくつか盛り付けたいが何がよいかの2点。高校生2人に、10月22日（月）までに再度アイデアを出してもらい、COZYに提出することになった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>

## 第6回グループ活動（グルメ担当）

### <おそば田なかでメニュー試食>

- Canaco さん、西高生2名とでおそば田なかに行き、そば粉入り大根もちを試食。
- 改良意見として、そば粉の量を増やす、そばの実を入れてみる、天かすの活用、しょうがを入れるなど。25日までに再度試作品を作ってくれるとのこと。



### <ルミエールにパンのアイデア書を渡す>

- 西高生2名とルミエールに行き、高校生に書いてもらったパンのアイデア書を渡す。ドリームフェスタについてのご案内をする。時間を置いてパンのアイデアで活かせるものがあるかを聞きに行く。



### <その他>

ドリームフェスタに高校生が参加するにあたり、検便が必要なため、高校生に依頼する。

### <次回までの課題>

10月22日（月）に検便及びCOZYへのアイデア書を高校から受け取る。その後COZYにアイデア書を渡す。

第7回グループ活動（グルメ担当）

日 時	平成30年11月6日（金） 16時30分～17時15分
場 所	産業文化センター
出席者	高校生2人 職員2人
内 容	<p>朝霞西高生と6回目の打合せ（校外活動）を行った。</p> <p>&lt;COZYと打合せ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・COZYとベジグルメの打合せを行った。</li> <li>・ドリームフェスタに向けて、COZYが作成したぽぽたんパフェを試食し、最終調整をした。</li> <li>・下の写真は完成型（店舗販売タイプ）で、ドリームフェスタ時にはこれを小さくしたものを販売する予定。</li> </ul> <div data-bbox="280 824 651 1099" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="671 842 1490 1084" data-label="List-Group"> <p>上から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米粉入りブッセ on 生クリーム（ぽぽたんの顔）</li> <li>・にんたま（白玉ニンジン）、柿、サツマイモチップス</li> <li>・バナナアイス</li> <li>・グラノーラ or 米粉で作った砕きおこし</li> <li>・ヨーグルトソース</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バナナアイスとヨーグルトの層を逆にすると、最後にバナナの風味が味全体を変化させ、面白い。</li> <li>・紫イモのチップスは色合いも味も良いので、添えるべきである。</li> <li>・米粉のおこしとグラノーラについては意見が割れるので、購入時に選べるようにすると面白い。</li> <li>・金額は、ドリームフェスタでは300円、1日あたり30～40個の制作・販売を目指す。</li> <li>・COZYの店舗販売では大きいものを800円で販売、学生は学割で600円。</li> <li>・高校生には、ぽぽたんの顔を書く作業などをしてもらいたい。</li> <li>・高校生とCOZYがコラボした内容を記載したチラシやポップを作成し、広くPRする。</li> <li>・ドリームフェスタの際の服装は、COZYは様々なコスプレ、学生は制服の上にむさしのフロントのはっぴ、職員は通常勤務時の服装にはっぴとする予定。</li> </ul> <div data-bbox="320 1753 579 2033" data-label="Image"> </div> <p>&lt;考 察&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・20日（火）の朝霞西高校漫画研究部との最終打合せについて、会場をCOZYとし、グルメ班のパフェ等を食べながら報告及び反省をするのはどうか。</li> </ul>

第8回グループ活動（グルメ担当）

日 時	平成30年11月16日（金）
場 所	ルミエール
出席者	職員2人
内 容	<p>&lt;パンのアイデアについて&gt; 10月19日にルミエールに渡したアイデア書の中で活かせるものがないかを聞きに行ったところ、クロックマダムを基にし、アレンジを加えたものがよいのではないかと話があった。 そこで、高校生に対しパンアンケート2回目を実施。 提出期限は11月20日（火）とする。</p>

第9回グループ活動（グルメ担当）

日 時	平成30年11月17日（土） 8時00分～16時30分 平成30年11月18日（日） 8時00分～16時30分
場 所	朝霞の森 ドリームフェスタ
出席者	高校生6人 職員5人
内 容	<p>朝霞西高生と校外活動を行った。</p> <p>17日（土）は高校生6人と政策研究チームのメンバーで、18日（日）は政策研究チームのメンバーで、COZY とぽぽたん風パフェの販売・チラシによる呼び込みを行った。</p> <p>朝霞西高生と市内の飲食店とで一緒に考えたメニューということを来場者に伝えると、興味を持ってもらえ好評だった。特に、17日は高校生が現地でぽぽたん風パフェの制作と販売を行ったので反響が大きかった。ぽぽたん風パフェを通じて、来場者と高校生との会話がはずみ、活気のあるブースになった。</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;">     </div>

第10回グループ活動（グルメ担当）

日 時	平成30年11月20日 16時00分～17時15分
場 所	トモソダチ café COZY
出席者	高校生11人 職員5人
内 容	<p>朝霞西高校生と最後の活動。          COZYにて、各担当が作成したものの完成報告会を行う。          朝霞市内を紹介するマップ／市内の名所を紹介するマンガ／高校生のアイデアを取り入れたメニューの3種類。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>マップ班</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>マンガ班</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>グルメ班</p>  </div> </div> <p>＜その後の各担当の活動方針＞</p> <p>【マップ班】          マップに掲載されているお店に掲載許可を取る。印刷するかは要検討。</p> <p>【マンガ班】          誤字を校正してから発注。部数は未定。完成品を朝霞西高校に20部配布する。</p> <p>【グルメ班】          ぽぽたん風パフェについて活動は終了。ルミエールへパンのアイデア書を渡す。</p>

グループ活動11回目（グルメ担当）

日 時	平成30年11月25日 8時00分～16時00分
場 所	中央公民館 コミュニティセンター
出席者	職員7人
内 容	<p>産業振興課が実施する農業際において、COZY と、ぽぽたん風パフェの販売・チラシによる呼び込みを行った。</p>   <p>その後、ルミエールに話を聞きにいくと、高校生のアイデアを活かした商品を開発することは難しいとのことであった。</p> <p>後日、政策研究チームの活動のまとめとして、高校生にアンケートを依頼する。</p>

第1回グループ活動（マップ担当）

日 時	平成30年7月26日（木） 15時00分～17時00分
場 所	朝霞西高校 家庭科講義室
出席者数	高校生6人 職員1人
内 容	<p>第2回目の活動日に、テーマ毎の活動グループに分かれたあと1時間程度打ち合わせを行った。</p> <p>&lt;マップ作成にあたってのアイデア抽出&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見どころやベジグルメを漫画のタッチで作成</li> <li>・どのようなテーマにするのか</li> </ul> <p>食べ物や買い物（お店）のマップ</p> <p>朝霞市内に高校はあるが「朝霞市民」ではないので、どんなお店があるのか分からない・知らない同級生も多い。食べ物やお店（ベジグルメも）を紹介するのはどうか。</p> <p>ネガティブマップ</p> <p>自転車通学しているが、朝霞は坂が多い。また、いつもひっかかる信号がある。電車通学だが、朝霞駅は急行がとまらない。でも学校があるから仕方がない。そういった朝霞の少し残念な部分を紹介するマップはどうか。共感してもらえらると思う。</p> <p>年齢別マップ</p> <p>様々な年代の人が見るマップというよりも特定の年代に特化したマップを作成してはどうか。その年代が必要なコト・モノが載っているマップ。例えば、少子高齢化の時代だから高齢者に特化したマップなど。</p> 

第2回グループ活動（マップ担当）

日 時	平成30年8月24日（金）9時30分～11時30分
場 所	朝霞西高校 家庭科講義室
出席者数	高校生5人 職員1人
内 容	<p>夏休みの部活動の活動日グループでの打合せを行った。前回まで話したことと、考えてきた内容の確認し、どのようなマップを作りたいか考えてもらう。</p> <p>資料:あさか野菜 de ベジグルメマップ、朝霞ブランドカタログ、あさかの逸品 vol.2、別冊広報あさか 2018年3月号、佐久市グルメマップ等</p> <p>&lt;どのようなマップを作りたいか&gt;          テーマをひとつに絞ったマップではなく、多くの人たちにマップを手にとってもらえるように、様々なテーマを扱ったマップを作成する。</p> <p>&lt;作成するマップのテーマ決め&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 年齢別マップ              市民は大人から子どもまで様々な年齢の人がいるので、同じ内容のマップでも「大人用」「子ども用」を用意すれば、マップを目にする人が増えるのでは？              ※「子ども用」は漢字をあまり使用しない、わかりやすい表現（イラストなどでなど</li> <li>• ネガティブマップ              朝霞のダメなところを紹介することで、作成したマップを見る人に共感してもらい、朝霞に興味をもってもらう。何故ダメとってしまうのか、ダメな理由などを調査して紹介しても面白いのでは。共感してもらえるので、マップを手にとってもらいやすい。注意喚起にもなる（事故の多い場所など）              例：ここの信号 変わるのが早くていつも信号待ちをする、朝霞駅は急行がとまらない、朝霞は坂が多い</li> <li>• ベジグルメマップ              マップに割引券や追加サービスを付与（どちらかはお店に選んでもらう）              市内にどういったお店があるかよく分からない              チェーン店は行くが個人店は入りづらい、ゆっくりできなさそう、分からない              今は入りづらいけど、気軽にそのお店に入れるような気持ちにするマップを作る</li> <li>• 坂道マップ              （ネガティブマップから派生して）              朝霞は坂道が多い（自転車通学 3年1名、2年2名）              どこが坂道か分かるようなマップを作成し、皆に知ってもらうのはどうか。              急な坂はあまり自転車で通りたくないのでは需要はあると思う。              坂の角度、長さ、走りやすさ、走りづらさ（自転車道・歩道の有無、舗装の悪さ</li> </ul>

## 第2回グループ活動（マップ担当）

など)、上り坂のきつさ、上り切ったときの達成感、下り坂の爽快感などを数値化し、つけてランキングを作ったら面白いと思う。

### <その他>

- 朝霞市内をよく知らない、市内でお店など立ち寄らない（自宅付近で用が済む）
- 行ってみたいところ：
  - カフェ・喫茶店（気軽に入れる）、メゾン・ド・プルミエ（キャロッターヌ）、満留賀（ぽぽたん風かき揚げそば）
  - その他：黒目川、博物館、たなか(春菊そば)、りっくんらんど、わくわくどーむ
- 朝霞高校地学部とのコラボ企画（朝霞市内で見ることのできる星空マップ）の概要説明
- 朝霞でオリ・パラをやること自体知らなかったが、集客力はあると思うので、マップで紹介等してみてもどうか。

### <次回活動について>

- タウンウォッチングを行い、市内の色々な場所（風景）を見る。  
候補地としては、市内在住の生徒も行ったことのない内間木方面など。



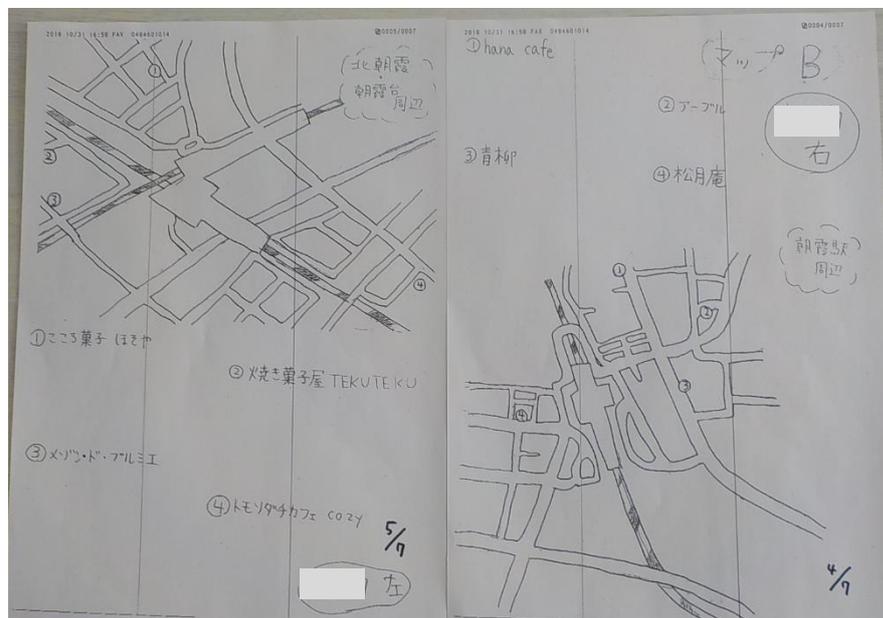
第3回グループ活動（マップ担当）

日 時	平成30年9月15日（土） 9時00分～12時00分
場 所	朝霞西高校 家庭科講義室 及び 市内公共施設等
出席者数	高校生3人 職員1人
内 容	<p>マップ担当と合同でタウンウォッチングを実施。平日の授業後に行うと暗くなっており、景色がよく見えないことから土曜日に実施した。公用車2台で市内公共施設等を回った。</p> <p>タウンウォッチング後、朝霞西高校家庭科講義室にて簡単な打ち合わせを行った。</p> <p>&lt;経路（マップ担当）&gt;  朝霞西高校 - 旧高橋家 - 柊塚古墳歴史広場(車窓から) - 朝霞水門 - 内間木地区(車窓から) - 内間木公園(車窓から) - クリーンセンター(車窓から) - はあとぴあ(車窓から) - わくわくどーむ(車窓から) - 朝霞市博物館 - 東京都浄水場(事前に配布した「朝霞の雫」と正門脇にある蛇口からでる都浄水場の水道水とを飲み比べ) - ロア・レギューム(以前の朝霞ブランド「みゃむみゃむプリン」のお店) - 北朝霞駅・朝霞台駅付近(車窓から) - 黒目川(車窓から) - 朝霞西高校</p> <p>※朝霞市博物館まではマップ担当と合同、東京都浄水場からは別行動となった。</p> <p>&lt;活動内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• タウンウォッチング 市内各所を回り、マップ作成時の資料やイメージを具体的にするための材料とした。</li> <li>• 打ち合わせ 次回までに高校生が準備すること  今まででた案の中からどのマップを作成していくのか粗々でマップを形にする 用意が必要な画材等があれば確認しておく</li> </ul>



第4回グループ活動（マップ担当）

日 時	平成30年10月19日（金） 13時00分～16時00分
場 所	朝霞西高校 家庭科講義室
出席者数	高校生3人 職員1人
内 容	<p>中間試験終了日、午後の授業がないことからグループでの打ち合わせを行った。</p> <p>&lt;進捗状況の確認&gt;</p> <p>前回の課題と進捗状況を確認。フローチャートを作成し、用途別にマップを3枚（運動・みどりのマップ、買い物・食事のマップ、子ども向けマップ：ひらがな・子どもの行きそうな公園・危険箇所）作成、見開きB5版の冊子状にまとめる。表紙・フローチャート・地図作成の役割分担を決めた。また、11/1(木)に作成状況を安田先生にFAXしてもらい、進捗を確認する。</p> <p>※今までのアイディア・打合せから大幅に変更する部分もでてきたが、高校生たちが希望してきたため、方向転換となった。</p> <p>※画材等は手持ちのもので対応するため、特に新たに用意してもらうものはない。</p> <p>・11/1(木)マップの進捗を確認するため、安田先生よりFAXをいただいた。マップは粗々で形になりつつあるが、フローチャートは手付かずとのこと。</p>



第5回グループ活動（マップ担当）

日 時	平成30年11月6日（火） 15時45分～17時00分
場 所	朝霞西高校 家庭科講義室
出席者数	高校生3人 職員1人
内 容	<p>授業終了後、グループでの打ち合わせを行った。</p> <p>&lt;進捗状況の確認&gt;          10/31(木)にFAXでの中間報告を基に、政策企画課及びマップ担当の意見を伝え、修正等の指示をした。          今回の指示による修正等を踏まえ、フローチャートの作成は期限を間に合わせる事が難しいため、フローチャートは作成しないこととなった。そのため、表・裏表紙：朝霞の白地図を作成することとなった。</p> <p>&lt;修正等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マップを分かりやすくするため、目印などを追加</li> <li>・実際の道を異なる部分を修正</li> <li>・各スポットの説明について、既存の資料からの転記ではなく、高校生ならではの視点で記述</li> <li>・挿絵等イラストの追加</li> <li>・「買い物・食事」マップについて              グルメ担当とコラボを進めているルミエールを掲載              掲載するお店選びの基準を決める              （あさかバル・ベジグルメ・あさかの逸品等に参加）</li> </ul> <p>※後日、掲載店へ訪問し掲載の了承を得た</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マップの用途・配布等を考えているのか              マップに掲載したお店や施設にて配布してはどうか</li> <li>・中綴じ冊子は12ページ（4の倍数）必要。              冊子に白紙が出来てしまうため              →打合せ終了後、同日中に顧問の先生へFAXを送信した。</li> </ul> <p>&lt;今後の活動予定&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年11月16日（金）の完成に向け、平成30年11月12日（月）に、顧問の先生より中間報告（FAX）をしてもらうこととした。</li> </ul>



第6回グループ活動（マップ担当）

<p>日時</p>	<p>平成30年11月16日（金） 15時50分～17時00分</p>
<p>場所</p>	<p>朝霞西高校 家庭科講義室</p>
<p>出席者数</p>	<p>高校生3人 職員1人</p>
<p>内容</p>	<p>・マップの原稿を受領した。          原稿は、1マップにつき2枚×3セットの計6枚。          ※表表紙・裏表紙は後日受領した。</p> 

第1回グループ活動（マンガ担当）

日 時	平成30年7月26日（木） 15時00分～17時00分
場 所	朝霞西高校 家庭科講義室
出席者	高校生 5人 職員 2人
内 容	<p>第2回目の活動日に、テーマ毎の活動グループに分かれたあと1時間程度打ち合わせを行った。</p> <p>&lt;漫画作成にあたってのアイディア抽出&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 漫画を短編にするか四コマにするか 作るネタ次第だが、四コマでオチを作るのは大変ではないか。</li> <li>• 漫画の内容をどうするか ぽぽたん擬人化。彩夏ちゃんも擬人化したい。 自虐ネタしか思いつかない。学校帰りに遊ぶ場所がない。畑の肥料が臭い。北朝霞駅前にあるニンジンのモニュメントが、最初言われるまでニンジンと分からなかった。北朝霞駅と朝霞台駅が分かれている意味が不明。ショッピングできるところがない。みんな、しまむらで服を買うから、小学校の時学校に行くと服がかぶることが多かった。市役所前にある池が汚い、そこにいる魚を誰が放したのか不明らしい。朝霞市が1位のものがない。そもそも埼玉県が・・・ダサイタマだし・・・。ぽぽたんが英語をしゃべった語尾にポをつけたらマイケルジャクソンになる。でもアクセスもいいし、適度な自然もあるし、住んでいて不便はない。黒目川の桜はキレイ。そこで綿菓子売っているおじさんが綿菓子をすごいサービスしてくれる。</li> <li>• その他 漫画にクーポン券を入れる といいと思う。できれば漫画に関連したもの。</li> </ul>



第2回グループ活動（マンガ担当）

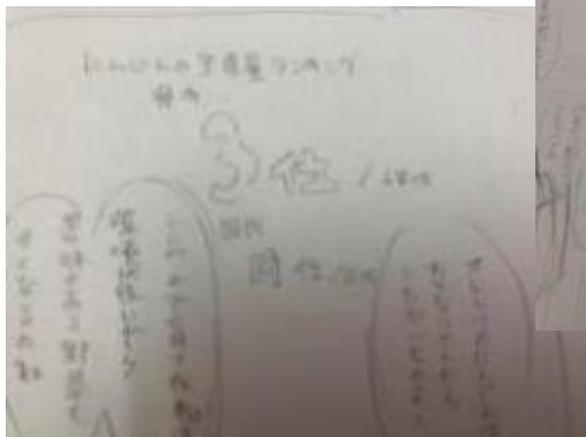
日 時	平成30年8月24日（金） 9時30分～11時30分
場 所	朝霞西高校 家庭科講義室
出席者	高校生 6人 職員 1人
内 容	<p>夏休みの部活の活動日に、グループでの打ち合わせを行った。</p> <p>&lt;議題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漫画のページ構成をどうするか</li> <li>・どのような内容とするか（何を伝えるか）</li> </ul> <p>まず、前回の活動の際に話に上がった、ぽぽたん擬人化と自虐ネタについて関係部署に確認した結果を伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ぽぽたんはプロフィール（男の子、）に沿ったものでないと許可はできない</li> <li>②自虐ネタだけではダメ（例：〇〇だけど□□はできる、等最終的にポジティブなものとしてほしい）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市が作成した動画「OKAERI」（YouTube）を見ながらイメージを湧かす</li> </ul> <p>&lt;結論&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漫画の構成は20ページとする。</li> <li>・全体の構成としては、現在、過去、未来の3部作とするが、今回描くのは現在とする。評判が良ければ続編として過去や未来を描く。</li> <li>・伝えたい内容は、朝霞市のイベント、風景。都会な部分も田舎の部分もある朝霞市を描く。</li> </ul> <p>今回、初めて動画を見たが、朝霞市について知らなかったことがたくさんあった。漫画作成にあたり、市内のいろいろな場所や風景を見たい。</p> <p>&lt;その他&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漫画作成にあたり、必要な消耗品 漫画用原稿用紙（A4にB5の枠線）1つ 筆ペン（ぺんてる）2本 ミリペン（0.1、0.05）各2本</li> <li>・次回までに漫画の作成を始めておく</li> </ul> <p>&lt;次回活動について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タウンウォッチング等で市内のいろいろな場所（風景）を見る。 行く場所の候補としては、市内在住の生徒も行ったことのない内間木方面。</li> </ul>

第3回グループ活動（マンガ担当）

日 時	平成30年9月15日（土） 9時00分～12時00分
場 所	朝霞西高校 家庭科講義室 及び 市内公共施設等
出席者	高校生 6人 職員 2人
内 容	<p>マップ担当と合同でタウンウォッチングを実施。平日の授業後に行うと暗くなっており、景色がよく見えないことから土曜日に実施した。公用車2台で市内公共施設等を回った。</p> <p>タウンウォッチング後、朝霞西高校家庭科講義室にて簡単な打ち合わせを行った。</p> <p>&lt;経路（マンガ担当）&gt;  朝霞西高校 - 旧高橋家 - 柊塚古墳歴史広場(車窓から) - 朝霞水門 - 内間木地区(車窓から) - 内間木公園(車窓から) - クリーンセンター(車窓から) - はあとぴあ(車窓から) - わくわくどーむ(車窓から) - 朝霞市博物館 - 市内オフィス用品店（マンガ画材購入） - 北朝霞駅・朝霞台駅付近 - 朝霞西高校  ※朝霞市博物館まではマップ担当と合同、市内オフィス用品店からは別行動となった。</p> <p>&lt;活動内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タウンウォッチング 市内各所を回り、漫画作成時の資料やイメージを具体的にするための材料とした。</li> <li>・打ち合わせ 今回、市内オフィス用品店で購入した画材を使用し、次回までにできるところまで漫画の作成を進めてもらう。 漫画の内容は前回話した現在について（色んなイベントで市民協力ボランティアが活躍している等）とする。</li> </ul> 

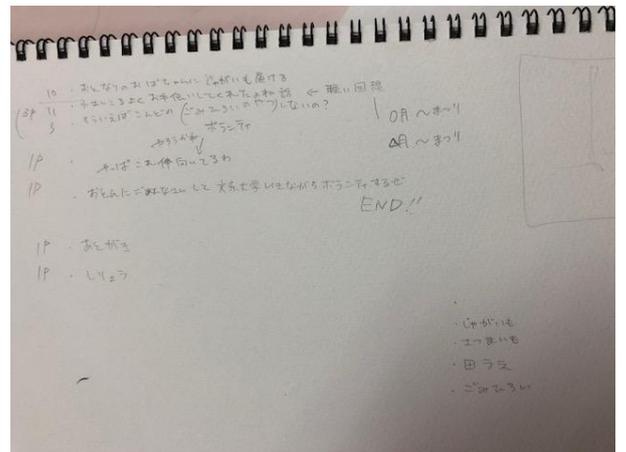
第4回グループ活動（マンガ担当）

日 時	平成30年10月19日（金） 13時00分～16時00分
場 所	朝霞西高校 家庭科講義室
出席者	高校生 5人 職員 2人
内 容	<p>中間試験終了日、午後の授業がないことからグループでの打ち合わせを行った。          なお、原稿の締切日を平成30年11月16日（金）と定めた。</p> <p>&lt;進捗状況の確認&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・20ページ中7ページ目まで下書き作成終了。これからペン入れ等を行う。</li> </ul> <p>&lt;役割分担について確認&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネームは全て部長が作成する。下書き作成後に、ペン入れ・背景作成・トーン貼り・ベタ塗り・校閲等を行う必要があるが、それについてはグループ内でそれぞれ担当を分けることとする。</li> </ul>

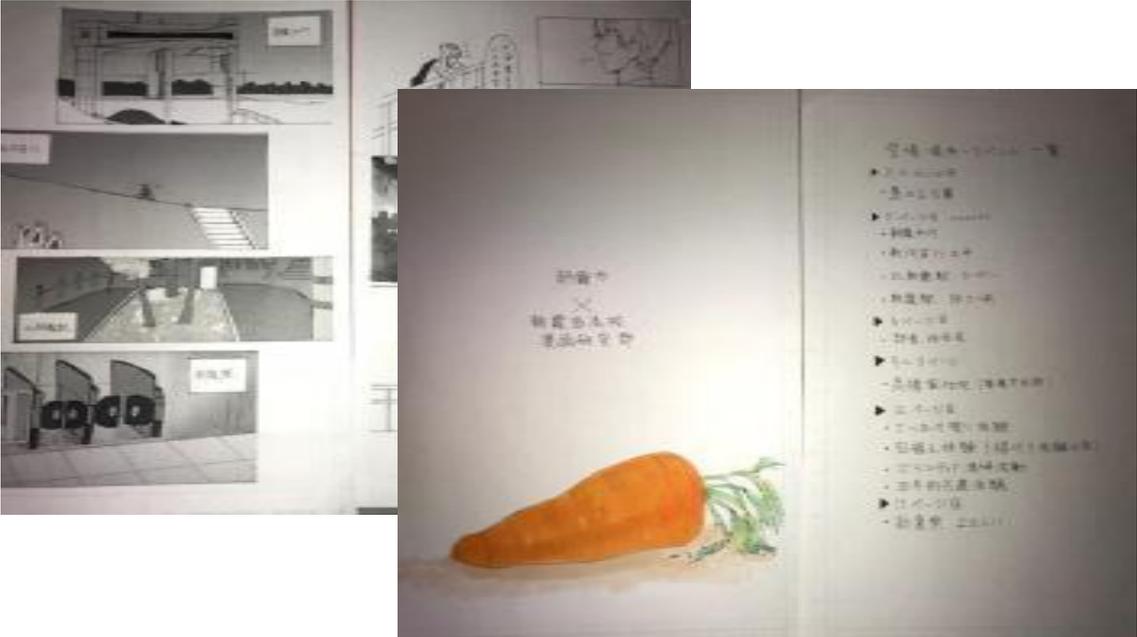


第5回グループ活動（マンガ担当）

日 時	平成30年11月6日（火） 15時45分～17時00分
場 所	朝霞西高校 家庭科講義室
出席者	高校生 6人 職員 2人
内 容	<p>授業終了後、グループでの打ち合わせを行った。</p> <p>&lt;進捗状況の確認&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・20ページ中10ページの下書き終了。</li> <li>・ページが余れば、高校生達のあとがきページを設けるのも可と説明。</li> <li>・表紙・裏表紙含めて20ページのため、内容としては17～18ページとなる。なお、ページが足りない場合には、4の倍数になれば増やしても構わないこと説明。</li> </ul> <p>&lt;漫画の内容について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下書きが全て終わっていないが、締切日が近いので残りのページ構成について全員で確認。</li> </ul> <p>10ページまでの下書き内容を確認したところ、今のストーリー展開だとページ数が足りないのではないかという問題の指摘が出た。再度ストーリーのあらすじ、残りのページ数の割り振り等を話し合った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漫画に載せるボランティア参加ができるイベントについて確認。</li> </ul> <p>基本はゴミ拾いになってしまうため、あとは通常の参加型のイベント（スポーツ体験・農業体験等）について紹介。生涯学習・スポーツ課に確認したところ、たくさんのイベントが確認できたため、一覧を後日顧問の先生にFAXし、漫画の題材資料としてもらうことになった。</p> <p>→打合せ終了後、同日中に顧問の先生へFAXを送信した。</p> <p>&lt;今後の活動予定&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年11月16日（金）の完成に向け、平成30年11月12日（月）に、顧問の先生より中間報告（FAX）をしてもらうこととした。</li> </ul>



第6回グループ活動（マンガ担当）

日 時	平成30年11月16日（金） 15時50分～17時00分
場 所	朝霞西高校 家庭科講義室
出席者	高校生 6人 職員 1人
内 容	<p>・漫画の原稿を受領した。          原稿は、当初の予定どおり計20ページ。内訳は、表紙・裏表紙・あとがき・登場場所・イベント一覧各1ページずつ、内容15ページ。</p> 

### 3) まとめ

2) で述べたとおり、今回の朝霞西高校との活動では、ぽぼたん風パフェの作成及び販売、市内マップ作成、漫画作成を行うことができた。なお、ぽぼたん風パフェについてはトモソダチ café COZY にて販売されており、市内マップ及び漫画については、それぞれに掲載がある施設等にて配布予定となっている。

以上の各活動報告を受け、今回の研究テーマと照らし合わせ、「青少年の声を生かすこと」、「朝霞のまちづくりを考えること」、の2つに重点を置き活動結果の検証をする。

まず、「青少年の声を生かすこと」についてであるが、今回の高校生班の活動では、朝霞西高校の漫画研究部の生徒と対象は限られるが、高校生の声を生かすことはできたのではないかと考えた。

今回の活動テーマは、高校生に自由な意見を出してもらい、高校生自身に決めてもらった。グループ活動をしていく中で、私たち高校生班が行ったことはタウンウォッチングや店舗への協力依頼等、意見を出すのに必要な機会の提供や、活動のサポートをするに留め、高校生自身の意見や発想を基に行ってもらった。

例えば、ぽぼたん風パフェの作成にあたっては、見た目が綺麗でニンジンを使ったスイーツを作りたいという高校生のアイデアを取り入れることができた。市内マップ作成にあたっては、作成した高校生自身の感想も入っていたり、マップに載せた施設や店舗も高校生が選んだものとなっている。漫画作成についても、ストーリー等全て高校生自身で考えてもらっており、最後に載っている登場場所・イベント一覧についても高校生が自ら考え、作成してくれた。実際に活動を行った高校生からも、今回の活動を通して自分の意見を言ったり、アイデアが形になったりしたことに自信がついた等の声をもらうことができた。

一方で、今回の活動に際し、もう少しグループ活動を計画的に行えたのではないかと、という反省点がある。高校生には授業や試験、また修学旅行等のイベントもあり、その合間に部活動の時間を利用して活動を行ってもらったが、作成ペースの配分が上手くいかず、一部作業を締切日当日に行うなど、余裕をもったの完成とはならなかった。これについては、私たち高校生班で作業計画を立てることを提案したり、定期的な進捗状況を把握することにより改善できたのではないかと考える。事実、活動終了後に、高校生から進捗が遅い場合には、責任感を持たせるためにももう少し厳しくしても良かったと思うという意見が挙げられた。

また、活動に協力してもらえた朝霞西高校の漫画研究部の生徒の声は生かすことができたが、他の高校生の意見を活動に反映することはできなかった。これについては、活動期間が11月までと報告書作成を見据えて設定したためであり、今後、同様の取組を行う場合には、活動期間を鑑みながら、より多くの

高校生の声を生かすべく高校側との調整が必要と考える。

次に、「朝霞のまちづくりを考えること」についてであるが、前述同様対象は限られるが、これについても目的を達成できたと言える。

活動初回では、その時に高校生が朝霞市に対して抱いているイメージや、朝霞市に必要なと思うものなどについて意見を出してもらった。市内在住の生徒や、市外在住の生徒がいる中で意見を出し合ってもらったが、これだけでも成果はあったと考える。そもそも、朝霞市について考える機会があまりなく、通学時しか朝霞市に関わらない生徒もいた。そういった市内在住や市外在住、電車通学や自転車通学のように、朝霞市との関わり方が違う生徒による意見は多方面からの視点に基づくものであり、違う視点からの意見を聞くことも朝霞のまちづくりを考えるうえで重要ではないだろうか。

また、朝霞市についてより知ってもらうために、今回の活動を通して、市が作成した動画「OKAERI」を見てもらったり、タウンウォッチングを実施したり、イベントに参加したりした。これらの活動も、朝霞市について更に知ってもらうことから始まり、まちづくりを考える機会へと繋がったのではないかと考える。

しかし、今回の活動期間中は朝霞やまちづくりについて考えてもらう機会を設けられたが、これは一過性のものである。今後も引き続きまちづくりについて考えてもらうには、市として継続的な機会の提供が必要となってくる。また、その機会の提供をより広い範囲で行うためにはどうしたらいいか、今後同様の取組を行う場合には、更に検討する必要があると考える。

今回の高校生班の活動を総じて感じたことは、高校生の意見を取り入れる場合には、高校の協力が重要だということである。その高校の協力を得るためには、学生の本分である学業に考慮したうえでの活動計画を練ることが必要である。

また、実際に活動をしていく中で、部活の顧問の先生の協力も重要であることを実感した。今回結果として3つの活動を行うことができたが、これはひとえに顧問の先生の協力があったからこそである。しかし、先生も日頃の業務で忙しい中協力していただいております、日程調整や事務連絡等について、こちらが綿密な作業計画を高校生と練っていれば、不要だった部分もあったと思う。前述でも述べたとおり、活動をもっと計画的に実施できれば、先生の負担を抑えることができたので、その点については改めて反省したいと感じた。

## (2) 大学生班

### 1) - 1 経緯 (参加者募集説明会に向けて)

まず大学生班で決めなければいけないことは①どんな大学生を対象とするか、②大学生の集め方、③活動の日時等、④最終的な目標だった。

①については、「朝霞」に賑わいを創出することが目的のため「朝霞を知っている大学生」に参加してもらい一緒に活動を進めることが最善であるとの結論に至った。

そのため、「東洋大学朝霞キャンパスの学生」と「朝霞に住んでいる・朝霞に興味がある他大学の学生」が適当であると考え②を検討した。

大学では高校までとは違い、学生が主体的に選択を行い講義を受講する、サークル活動に参加する、ゼミ活動に参加するなど様々な活動を行っている。授業等での強制的な参加よりも主体的に政策研究チームの活動に興味や賛同の上で参加してもらった方が前向きに参加してもらえないかといった点から、政策研究チームの目的や活動について説明の場を設け参加者を募ることとした。

上記説明を6月25日に産業文化センターにて実施することとし、学生への周知活動を開始した。

まず、周知方法は東洋大学の事務局と下記の3教授(大表-1)に協力いただき、学生に周知をした(学生への声掛け及び下記チラシ(大資料-1)の配布)。また、朝霞に住んでいる・朝霞に興味がある他大学の学生には、朝霞市のFacebookで参加を呼びかけた。

氏名	学部 学科
奥村 和正 教授	ライフデザイン学部 人間環境デザイン学科
神野 宏司 教授	ライフデザイン学部 健康スポーツ学科
樋口 貴彦 助教	ライフデザイン学部 人間環境デザイン学科

大表-1 協力教授一覧 (50音順)

### 若者のチカラを朝霞市のまちづくりに届ける！ ～「むさしのフロントあさか」を若者に～

これからの時代を築くのは、若いチカラ(大学生等)です！  
朝霞市のまちづくりに、あなたのチカラを発揮してみませんか？  
まずはみなさんの普段感じていることをさっくらんに聞かせてください。

日時：6月25日(月) 16:00～16:45  
対象：大学生担当年の方(おおよそ18歳～25歳程度)  
場所：朝霞市産業文化センター2階 研修室兼会議室2  
※自由なことをやってみよう、まちづくりの仲間になれる。どなたでも大歓迎！  
内容：朝霞市政策研究チームがみなさんの自身のことや普段の暮らしに感じていることをお伺いします。さっくらんに話してください。お茶とお菓子も用意しています。

問い合わせ：政策研究チーム(大学生班)  
048-463-1770(事務局) fukunori@city.asaka.lg.jp  
048-463-2709(事務局) kyoike\_a@city.asaka.lg.jp  
048-463-2585(事務局) kaitaku\_kan@city.asaka.lg.jp



大資料-1

③については、活動の時間帯とペースについて協議した。

大学生は講義を自分で選択し受講するため、何時が空いているということが決まっておらず、アルバイトをしている大学生も多く、学校以外でも予定が入っているため、一方的に決定すると参加できない可能性が高くなってしまう。時間帯とペースについて説明会に参加してくれた大学生にアンケートを実施し決定することとした。

政策研究チームの活動等について説明する上で④をわかりやすく伝えるために以下の内容を検討した。

テーマだけでは抽象的であり具体的な活動をイメージできないため、大学生班で話し合った結果次の候補が挙げられた。

- A 青少年が住みたい・遊びにいきたいと思う街にするための企画立案
- B 青少年が考えた若者が集まるイベントの企画から実施
- C 青少年の意見をまちづくりに取り入れる手法づくり

全国的に人口減少と少子高齢化が予測されており、朝霞では平成32年前後に人口のピークを迎え、その後、人口減少が始まり、人口減少と共に生産年齢人口が減少し、高齢者の割合が高くなると推定される。高齢者の割合が高い人口構成となることは、消費市場規模の縮小や人材不足などによる将来の地域経済力、活力低下が懸念されるため、朝霞を活力のある魅力的な街として維持していくためには生産年齢人口の獲得が必要である。

そのため、今回のテーマを実現するためにはまずAもしくはBについて検討実施し、青少年に朝霞に魅力を感じてもらい、愛着を持ってもらう、住んでもらうことが必要である。

よって、今回の活動ではAもしくはBについて進めることとした。

どちらにするべきかについて大学生班でも意見が分かれた。各々の理由は以下のとおりである。

#### ○Aにて進めるべき派

- ・最初から実施までを目標とすると、実現可能な内容にとらわれてしまう。出来る出来ないではなく、「こんな街」だったら住みたい、「こんなイベント」だったら行きたいというものを一緒に考えていきたい。
- ・実施ありきで考えると選択の幅を狭めてしまうため、実施するかどうかは検討を進めながら決めてもいいのではないかと。
- ・活動期間が決められており、活動回数も限られるため実施まで出来るのか。
- ・職員数人と大学生のみで実施できるイベントでは、青少年を集めるだけの規模

- ・や周知、企画が難しいのではないかな。
- ・実施するには予算の確保が課題となる。

#### ○Bにて進めるべき派

- ・実際に実施までやらなければ効果がわからないため研究の結果がでない。
- ・参加してもらう大学生に結果や、やりきったという充実感を感じてもらうには形になる内容のほうがよいのではないかな。
- ・ゼロからではなく、既存のイベントにブースやひとつの企画として参加すれば実現可能ではないかな。

結果として、実施するしないについて明言することなく大学生から意見を出してもらい、その内容が自分たちで実現可能かどうかによって、企画立案までとするか実施までとするか決定することとした。

具体的な投げかけ方法は以下のとおりとした。

#### ■活動最終目標

「むさしのフロントあさか」を「若者」に朝霞のブランドテーマである【むさしのフロント】を全面に押し出し、【むさしのフロント】＝【若者のまち】＝【朝霞】とつなげられるようなまちづくりを目指す。

#### ■進め方

##### ①若者の街とは

- ・大学生にどの街に「住みたい」か「遊びに行きたい」か考えてもらう  
→どんな街に興味を持っているのか  
何があるから住みたい・遊びに行きたいのか（ハード・ソフト）

##### ②朝霞の印象

- ・朝霞の現状について意見を出し合ってもらう  
→青少年が持つ朝霞に対する良い面、悪い面の抽出

##### ③理想の街と朝霞のギャップの抽出

##### ④朝霞を「むさしのフロントあさか」にするためにはどうしたらいいか

- ・あなたは初めての大学生市長になりました！  
そこで、あなたはこれからあなたと同年代の青少年に対して、朝霞を【むさしのフロントあさか】というブランドを持った青少年向けのオシャレな街にしたいと考えています。  
そのためには、あなたはどのようなまちづくりをしたいでしょうか。

以上の方法により、案を決定し、その案が具体的になるよう活動を進めていくこととした。

#### 1) - 2 経緯（6月25日参加者募集説明会当日～今後の方針決定）

説明会に向け、東洋大学から学生への周知を協力してもらい、当日開催前に東洋大学構内にてチラシ配布を行い参加者募集に努めた。

結果として参加者は1人であり、政策研究チームの活動内容や目的を説明した結果、今後の活動に参加いただけることとなった。当日の内容については別途2)に掲載する。

説明会を実施してみて感じたことは、大学生に集まってもらうことの難しさだった。そして、今回の活動では大学生の協力が不可欠であり、さらなる人数の参加が必要となるため、勧誘方法の再考を行った。

参加してくれる大学生が集まらなくては活動の開始ができないため、参加者募集説明会から7月末までの約1か月を第2期参加者募集期間と位置付けた。

参加者を獲得するために説明会を実施する方法では、集まってもらうハードルがあり、さらに参加してもらうハードルがあった。2つのハードルを越えるのは大変なため、前者は大学生班が飛び越えてしまうこととした。

その方法が次の2つである。

①学生がいる場へ行き勧誘する。

②自分たちが直接勧誘できない人に対し、政策研究チームのポスター（大資料-2）を作成（参加申込可能なQRコード及びメールアドレス付き）し市内掲示板や朝霞市のFacebookで勧誘する。

実行のため、再度東洋大学に協力いただき、ポスターの掲示と授業及びゼミ活動での勧誘をした。

東洋大学での勧誘活動は以下のとおりである。

①7月6日 授業で学生に周知（1年生対象 約200人）

②7月9日 授業で学生に周知（2～3年生対象 約40人）

③7月10日 授業で学生に周知（3～4年ゼミ生対象 約30人）

④7月17日 昼休みに興味のある学生に周知（1～4年生 約10人）

また、子ども食堂でボランティア活動している大学生を勧誘した。

①7月18日 大学生ボランティア2人に周知

②7月23日 大学生ボランティア1人に周知

ポスターの掲示場所は東洋大学と市内掲示板30か所、東武東上線朝霞駅、朝霞台駅、JR北朝霞駅、市内循環バスに協力いただき掲示した。

また、市職員に知人や友人、家族への勧誘依頼をおこなった。

さらに7月5日にさいたまスーパーアリーナで実施された就職説明会でもチラシを配布した。

その結果、参加者募集説明会の1人を含め全17人から応募があった。

所属	人数	市との関係	参加の経緯
東洋大学	2人	在住・在学	大学内での案内(ポスター、説明会)
東洋大学	8人	在学	大学内での案内(ポスター、説明会)
大学生	1人	在住	Facebookを見て
大学生	2人	在住	ポスターを見て
大学生	1人	在住	子ども食堂での案内
大学生	1人	在住	友人・知人からの案内
社会人	1人	在勤	ポスターを見て
社会人	1人	在住	ポスターを見て
合計	17人		

応募者に集まってもらう第1回活動日を8月8日と決め、準備を進めた。

以降の活動内容については2)に続く。



**何をするかはアチワ次第！計画⇒実行まで！**

対象者：18～25才前後の方 活動期間：8～11月・月1回程度@あさが市内



政策研究チーム 30

検索

★お問い合わせはコチラ★(開発建築課)

メール：kaihatu\_kentiku@city.asaka.lg.jp

電話：048-463-2585

大 資料・2

## 2) 内容

### 大学生班参加者募集説明会

日 時	平成30年6月25日(月) 16時00分～17時30分
場 所	産業文化センター 第2研修室兼会議室
出席者	大学生1人(Facebookを見て参加) 職員3人
内 容	<p><b>【目的】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>政策研究チームに興味を持ってもらい、協力者を確保する</li> <li>大学生等が朝霞市に感じていること、興味を持っていることを知る</li> <li>大学生等の集まれる頻度や集まりやすい時間・場所を把握する</li> </ul> <p><b>【内容】</b></p> <p>協力者確保に向けてチーム活動の概要を説明し、大学生等が朝霞市に感じていること、普段興味のあることや生活等について話を伺った。</p> <div data-bbox="284 936 1503 1568" style="text-align: center;"> <p>大学生のチカラを朝霞市のまちづくりに届ける ～「むさしのフロントあさか」を若者に～</p> <p>平成30年 6月25日(月) 16時～ 産業文化センター 2階 研修室兼集會室(2)</p> <p>今後の活動</p> <p>若者の声を市に届ける方法はないかな 市の情報はどうしたら若者にも届くかな</p> <p>○○があるとっと市の魅力が増すんじゃないかな</p> <p>朝霞市を若者が暮らしたい街、行きたい街にしたい!</p> <p>若者向けのイベントが足りないから増そう!</p> <p>理想の街、魅力のある街ってなんだろう?</p> <p>想ひを、自分自身で実現させて、理想の朝霞市を築いてみよう!</p> <p>◎朝霞市ぽたん</p> <p>今後の活動つづき</p> <p>これからの時代を築くのは、みなさんの若いチカラです! 朝霞市のまちづくりに、みなさんのチカラを発揮してませんか?</p> <p>自分の声やチカラを直接まちづくりに届ける、なかなか経験できない貴重なチャンスです!</p> <p>私たち大学生チームは、朝霞市のまちづくりについて、みなさんと「こうなったらいいな」「これをやってみたい!」と一緒に考え、一緒に実行していきたいと思っています!</p> <p>◎朝霞市ぽたんは、朝霞市西高等学校、朝霞市立高等学校のみなさんに家まで行く予定です!</p> <p>◎朝霞市ぽたん</p> </div> <p>■大学生の普段の生活について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遊ぶ場所は、新宿等集まりやすい場所。ご飯食べたり、買い物したり。</li> <li>他に出掛けるところは、地方に長期旅行やフェス等々。</li> <li>何か情報を探すときはSNS。大学生は何かしらSNSをやっている。インスタ利用者が一番多い。次点でTwitter、Facebook。</li> <li>地元の友達とはだんだん疎遠になってきた。大学の友達と関わることが多い</li> <li>夏休みは大体8月上旬～9月中旬まで。大学によっては2週間程前後する。</li> <li>他大学との交流は、主にサークルに所属するか、インカレ。</li> </ul>

## 大学生班参加者募集説明会

### ■朝霞の印象について

- 都会過ぎず、田舎過ぎず暮らしやすい。交通の便がいい。
- 友達は朝霞市には誘わない。朝霞市に来てもらうには目的がない。
- 彩夏祭はすごい祭だが、市民が集まる場では周知がされていないという意見を聞いた
- ぽぽたんのLINE スタンプは、わりと話題になっていると思う。
- 市民が集まる場が少ない。商店街もあるのに、もったいない。
- 市のFacebook は見ている。

### ■あさかで開催されているイベントで知っているもの

- 彩夏祭……いつも参加している。他の近隣他市のお祭りとは規模が段違いだと思う。他の鳴子も出演したことがあるが、演者の気合いの入り方、気迫がまるで違った。
- 市民体育祭……周りの人が参加したり、見たり聞いたりして知っている程度。
- 黒目川花まつり……主に地元の友人と行くのが殆ど。

### 【結果】

- 出席者1名は、大学生班の活動に参加してくれることになった。
- 午前中か夕方の時間、隔週～月1回程度、乗り換えのある朝霞台駅そばの産業文化センターが、大学生等が集まりやすい。
- 今後、7月末までの期間を、大学生等の参加者募集期間とすることとした。

### 【活動風景】



彩夏祭インタビュー

日 時	平成30年8月4日（土） 11時30分～14時00分
場 所	中央公民館 コミュニティセンター
出席者	職員3人
内 容	<p><b>【目的】</b> 政策研究チームに参加してくれる大学生の中には、朝霞について詳しく知らない方もいるため、彩夏祭来場者に対し朝霞に関するインタビュー調査を実施し、朝霞がこんな街であると伝えるための資料とする。</p> <p><b>【調査対象】</b> 彩夏祭来場者のうち若年層の方</p> <p><b>【質問内容】</b> ①あなたが市長になったらどんなことがしたいですか。 ②朝霞の印象について教えてください。 ③友人に朝霞市のことを紹介するとしたら、どのように紹介しますか。 ④朝霞のおすすめは何ですか。 ⑤朝霞が「もっとこうだったら良いのに」と思うことはありますか。 ⑥朝霞の情報の入手方法はありますか。</p> <p><b>【実施方法】</b> 彩夏祭では中央公民館に休憩に来る人が多くいるため、中央公民館内でインタビューを実施する。 質問内容は6コあるが、インタビューをしている最中の状況から質問数と内容を決める。</p> <p><b>【考慮した点】</b> 彩夏祭には鳴子チームが多く参加しており、普通の恰好では目立たないためインタビューしてます！と一目でわかる目立つ格好をする。</p> <p><b>【成果】</b> 計126名にインタビューし回答を得ることができた。 各質問に対し一番回答数の多かった回答を記載する。 ①あなたが市長になったらどんなことがしたいですか。 →朝霞駅に急行が停まるようにしたい。（19.1%） ②朝霞の印象について教えてください。 →自然が多い。（14.6%）</p>

## 彩夏祭インタビュー

③友人に朝霞のことを紹介するとしたら、どのように紹介しますか。

→給食が美味しい。(13.8%)

④朝霞のおすすめは何ですか。

→都会でもなく田舎でもなく暮らしやすいところ(33.3%)

青葉台公園(33.3%)

公園通り(33.3%)

⑤朝霞が「もっとこうだったら良いのに」と思うことはありますか。

→外灯の増設(10.9%)

⑥朝霞の情報の入手方法は何ですか。

→Twitter(50.0%)

※詳細については7 付録 彩夏祭アンケートを参照

### 【活動風景】



第1回ワークショップ

日 時	平成30年8月8日（水） 15時00分～17時00分
場 所	産業文化センター 第1研修室兼会議室
出席者	大学生等 9名 職員 5名
内 容	<p><b>【目的】</b> 参加者の抱いている朝霞市への印象を、グループワークを通じて具体化・抽出を行い、そのうえで参加者の抱く理想に朝霞市をどう近づけていくか、まちづくりというものを考察する。</p> <p><b>【内容】</b></p> <p>(1) 政策研究チームの紹介 簡単に政策研究チームとは何を目的としてどのような人が活動しているのかを紹介。当日参加した職員の自己紹介も1人ずつ行った。</p> <p>(2) 自己紹介 参加者1人1人が自分の「名前・朝霞市との関係（在学／在勤／在住）・好きなもの・何か一言」をその場にいる全員に向けて自己紹介をした。</p> <p>(3) 朝霞市について まず、朝霞市に対して、日頃から抱いている印象を、3グループに分かれて15分間、ブレインストーミング方式を用いてグループで話し合い、その後各グループで発表する人を決めて発表し、その後、各グループで話し合った「朝霞市の印象について」を元に、自分達が思う理想のまちについて考え、グループ毎に発表した現在ある朝霞市に対する印象と、意見として挙げられた理想の街のギャップを抽出し、どんなことをすれば、その間のギャップが埋まり、朝霞市がより魅力的な街に近づいていけるかというステップを踏んで、まちづくりについて考察した。</p> <p><b>【結果】</b></p> <p>&lt;朝霞市に対するイメージ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「Aグループ」（3人） アクセスが良い・都会と田舎の程よさ・駅から離れると何も無い・東洋大学・彩夏祭・畑と住宅が多い・西東京市に似ている・空が広いなどの意見が出た。</li> <li>・「Bグループ」（3人） 朝霞駅・朝霞台駅、東洋大学、黒目川、自衛隊、彩夏祭といった意見から、にんじん、治安がいい、地域の活動が多い、子育て、自然が多い、風が強い、坂が多いといった意見が出た。</li> <li>・「Cグループ」（3人） 子どもが多い、外国人が多い、高齢者が活気ある、坂が多い、川が多い、黒目川の桜がきれい、浄水場がある、交通の便が良い（電車・自動車共に）、にんじん、農家が多い、吹奏楽が強い、市の放送が多い、彩夏祭といった意見が出た。</li> </ul>

<理想のまちとは>

・「Aグループ」(3人)

「住みたい街」か「遊びに行きたい街」ならどちらかというところから考え始め、住みたい街の方が良いという結論から、地価が高い・でも利便性がある場所・家を持つ世代がいなくなってしまうので、その人たちにも暮らし続けてもらうためにはどうするか・制度の充実・バス路線の改善・サービスの充実などの意見が挙げられた。

・「Bグループ」(3人)

休日に遊びに来る街ではなく、暮らしやすい生活するならこういう街がいいなという意見だった。朝霞にせっかく住んでいるのだから、朝霞限定の特別感や優遇があったらいいのではないか。例えば、オリンピックチケットの優先販売や割引、名産であるニンジン畑から取り放題などが出た。

・「Cグループ」(3人)

物価が高い、安いスーパーが欲しい、100円均一の店舗がもっと欲しい。自転車が多く危ない。出身地では、近所の人とあいさつをしながら、長く色々な世代の人と接するため、自然と関係が深まった。朝霞市は、関係が深まるほど長く接しない、深まらなくても生活できてしまうが、そういった繋がりが欲しい。学生限定の学習スペースがあると良い。朝霞は坂・狭い道が多いという意見が重なったため、その特徴を生かせるの良いのではないか。大学卒業後、このまま朝霞市に住みたいと思うかは正直分からないとの意見が挙げられた。

【活動時間アンケート】

今後の政策研究チームの活動に伴い、開催時間についてアンケートを行い、集計した結果、以下の内容となった。

- ・ 9時～11時 2票
- ・ 11時～13時 0票
- ・ 13時～15時 1票
- ・ 15時～17時 7票★

※複数回答可能

# 第1回ワークショップ

## 【参加者への課題について】

青少年の意見をまちづくりに取り入れる手法として、どのような手法があるかを検討し、今後の政策研究チームへの活動の一環にするため、以下のような課題を依頼した。

平成30年8月8日

ワカモノが ASAKA をつくる！事前課題シート

### ●●●！次回ワークショップまでの事前課題！●●●

本日はお忙しい中、「ワカモノが ASAKA をつくる！」のワークショップにご参加いただき、誠にありがとうございました。

不躰ではございますが、今回お申し込みいただいた皆様に次回の活動までの事前課題をお願いしたいと考えております。というのも、若い方たちが、日頃から自分たちの住む街に抱く希望・要望は少なからずあります。しかし残念ながら、そういった意見が必ずしも常に市に届いているわけではありません。

そこで、若い方たちが「より意見を提案したくなる・市に意見が届きやすくなる」ような仕組みを作るべく、皆様には「ワカモノ向けのアンケート」を作成していただきたいと考えています。次のページにある課題を、8月31日（金）までに作成し、メールにてご報告いただければと思います。

作成されたアンケートについては、ワークショップの途中に、どのような意見が出たのか中間報告をし、改良を重ね、実際に市の若い方たち向けの意見箱として活用されるように努めていきたいと考えております。皆様の面白いアンケート案を思いつく限り考えてみましょう！

★提出期限：8月31日（金）締め切り

★提出方法：メール

★提出先：朝霞市 開発建築課 吉弘 まで

メールアドレス：kaihatu\_kentiku@city.asaka.lg.jp



むずかしく考えずに、気軽にだしてほしいにゃあ～

【Q1.アンケートはどのような媒体で行いますか？】

【Q2.アンケートではどのようなことを聞きますか？】

【Q3.どのような工夫をすれば、若い人たちに今よりも意見や提案をして貰えると思いますか？】

## 【活動風景】



第2回ワークショップ

日 時	平成30年9月18日（月） 15時00分～17時00分												
場 所	産業文化センター 第1研修室兼会議室												
出席者	大学生等 2人 職員 4人												
内 容	<p><b>【目的】</b>          前回のワークショップで参加者から出た「朝霞に対する意見」「理想の街とは」と、彩夏祭で行ったインタビューの意見を元に、どうしたら若者の賑わいを創出できるかということのを皆で考え、具体的な取組を決める。</p> <p><b>【内容】</b></p> <p>○方法          意見やインタビューの内容をカテゴリー分けし、「人」「モノ・コト」「場所」ごとに当てはめ、それを「(人) × (モノ・コト) × (場所) = ??」という賑わいを創出する計算式を作成する。</p> <p>○検討ツール          考えるにあたり、下記シートを利用し意見をあてはめ企画案を検討する。</p> <p><b>提案シート</b> <span style="float: right; font-size: small;">H30.9.18 「ワカモノがASAKAをつくる！」第2回ワークショップ *平成30年度政策研究チーム*</span></p> <p>タイトル <input style="width: 600px; height: 25px;" type="text"/></p> <table style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; border: none;">&lt;人&gt;</td> <td style="width: 25%; border: none;">&lt;モノ・コト&gt;</td> <td style="width: 25%; border: none;">&lt;場所&gt;</td> <td style="width: 25%; border: none;">&lt;?&gt;</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; width: 25%; height: 80px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 25%; height: 80px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 25%; height: 80px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 25%; height: 80px;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;">×</td> <td style="border: none;">×</td> <td style="border: none;">=</td> <td style="border: none;"></td> </tr> </table> <p>○なぜこの提案？（背景）  <input style="width: 100%; height: 30px;" type="text"/></p> <p>○何のために？（目的）  <input style="width: 100%; height: 30px;" type="text"/></p> <p>○どんなことをするのか（内容）  <input style="width: 100%; height: 40px;" type="text"/></p> <p>○実現に向けての課題（次回までに確認したいこと（必要な情報、条件等）ことも書いておこう！）  <input style="width: 100%; height: 40px;" type="text"/></p>	<人>	<モノ・コト>	<場所>	<?>					×	×	=	
<人>	<モノ・コト>	<場所>	<?>										
×	×	=											

## 第2回ワークショップ

### ○分類別意見・回答

下記分類項目以外にも各自が思いついたキーワードを利用した。

#### 【ヒト】

人口が多い	不審者が多い	20～30代
子どもが多い	20歳未満	30～40代
高齢者が活発的	男性	40～50代
血圧が高い人が多い	女性	50～60代
外国人が多い	(その他)	70歳以上

#### 【モノ・コト】

交通の便が良い	にんじん	吹奏楽が強い
特徴がない	地域の活動が多い	急行が停まらない
彩夏祭	本多美奈子	市内循環バスが使いづらい
自転車の利用者数が多い	駅の利用者数が多い	給食が美味しい
市の放送が頻繁にある	オリンピック	(その他)

#### 【場所】

駅前	市役所の建物が古い	東洋大学
自然がある	スタバ	住みやすい
坂が多い	あさかベーカリー	都会で田舎
道が狭い	飲食店が多い	地価が高い
黒目川(桜並木)	自衛隊	東京に近い
遊ぶ場所がない	公園が多い	街並みが良い
朝霞駅	北朝霞駅	朝霞台駅
静か	スーパーが程良くある	一人暮らしに良い街
水がきれい	静か	(その他)

【結果】

参加者に考えてもらった結果、以下15の案が提案された。

「青少年の声を生かした朝霞のまちづくりを考える  
～賑わいの創出など新しい朝霞をつくるために～ 実施事業案」

- |  | ①ヒト        | × | ②モノ・コト            | × | ③場所      | = | 事業案                  |
|--|------------|---|-------------------|---|----------|---|----------------------|
| ①  | 20～30代     | × | ファッション・雑貨         | × | 駅前       | = | ファッション雑貨店を作ろう        |
| 朝霞に若者がふらふらできるお店がないため、駅前に雑貨店等があったらいいのではないかな。  |            |   |                   |   |          |   |                      |
| ②  | 20～50代     | × | 芸術・美術             | × | 丸沼芸術の森   | = | 芸術の街                 |
| 村上隆を輩出していることは朝霞のPRポイントになる！芸術の街としてイベント等開催したらいいのでは。  |            |   |                   |   |          |   |                      |
| ③  | 20～50代     | × | 音楽・吹奏楽            | × | 基地跡地     | = | 音楽フェスティバル            |
| 本田美奈子と尾崎豊を輩出していることは朝霞のPRポイントになる！吹奏楽も強いので音楽の街としてイベント等開催したらいいのではないかな。  |            |   |                   |   |          |   |                      |
| ④  | 子供・お年寄り    | × | 彩夏祭               | × | 各所       | = | 彩夏祭給水スポット            |
| 朝霞市といえば彩夏祭でありいいお祭りだが、毎年猛暑のため給水スポットを設置するなど対策がされればもっといい祭になる。   |            |   |                   |   |          |   |                      |
| ⑤  | 子供・お年寄り    | × | 彩夏祭・日常            | × | 公園       | = | 公園に日除け               |
| 朝霞市は公園が多くある。しかし、日よけのついた小屋等があまりない。夏場は日差しが高く気温も高いため休憩できるような場所があるととってもよくなる。   |            |   |                   |   |          |   |                      |
| ⑥  | 小学校・保育園・学童 | × | にんじん              | × | 畑        | = | ニンジン堀り               |
| 朝霞に住む子供たちに朝霞に愛着や郷土愛を持ってもらうため、名産であるニンジン堀りを遠足やイベントで実施する。   |            |   |                   |   |          |   |                      |
| ⑦  | 子供・親子      | × | 野菜・特産品販売          | × | 公園・黒目川沿い | = | ニンジンバーベキュー           |
| ニンジンバーベキューを無料で配布する。名産であるニンジンをもっと市民に食べてもらい朝霞に愛着や郷土愛を持ってもらう。また地域交流の場として活用する。市街の人には朝霞市をPRする絶好の場となる。   |            |   |                   |   |          |   |                      |
| ⑧  | 女性         | × | 何もなし              | × | 坂が多い     | = | おしゃれな小道              |
| 朝霞市は坂が多い。ただの坂にわざわざ行こうと思わないが、坂に女性が行きたくくなるような雑貨店等を誘致したり、道や壁もおしゃれな雰囲気になれば、インスタ映えを目的とする人を集められるのでは。   |            |   |                   |   |          |   |                      |
| ⑨  | 全世代        | × | 彩夏祭               | × | トイレ      | = | 彩夏祭WC増設（スタッフと一般で分ける） |
| 彩夏祭は多くの人を訪れる。そのため、スタッフとして働いている時にトイレにいくとトイレ待ちの列に並び時間がかかってしまう。一般客とスタッフで分けた方がいいのでは。   |            |   |                   |   |          |   |                      |
| ⑩  | 10～20代男女   | × | 一人暮らしに良い街         | × | 飲食店が多い   | = | 地域で食事会               |
| 第1回WSで人と人のつながりのある街が理想という意見が出たことから、一人暮らしをしていると近所の人と触れ合う機会がないため地域交流の食事会を開催したらどうか。また、朝霞のチェーン店以外のお店に行く機会がないので食事会を毎回違う様々なお店でやるとうれしくなる。        |            |   |                   |   |          |   |                      |
| ⑪  | 坂道を通る人     | × | 電動自転車レンタル         | × | 市内各所     | = | 電動自転車レンタル（シェア）       |
| 朝霞は坂道が多いので、日々の生活が大変である。そのため、市内の各所に電動自転車をレンタルできる場所をいっぱい作り（駅やスーパー、コンビニ等）買い物や通勤に使用できれば便利だし生活がしやすくなる。  |            |   |                   |   |          |   |                      |
| ⑫  | 自転車好き      | × | サイクリングルート整備       | × | 市内全体     | = | サイクリングロードづくり         |
| 朝霞には黒目川の桜やイチョウ並木等きれいな景観と坂道が多くある。市内一押しスポット（景観や飲食店、名所等）を巡るサイクリングロードを整備し、マップを作製したら自転車好きと観光客が来てくれるのではないかな。                                   |            |   |                   |   |          |   |                      |
| ⑬  | 市民や朝霞に来る人  | × | 理想の店・コミュニティスペース作り | × | 朝霞駅前商店街  | = | 理想の商店街づくり            |
| 街で人が集まる場所といえば商店街である。こんなお店があったらいいな。地域の人が何かを目的とせず滞在しその時一緒になった人とコミュニケーションをとれるような場所を作るなど、理想の商店街を計画しよう。                                       |            |   |                   |   |          |   |                      |
| ⑭  | サバゲー好き     | × | 自衛隊とサバゲー          | × | 基地跡地     | = | 自衛官とサバゲー             |
| 自衛隊駐屯地があるのも朝霞ならではのPRポイントである。サバゲーで自衛隊と対戦できたらサバゲーをやっている人もやってない人も興味を持って朝霞にくるのではないかな。対戦だけでなく自衛隊から指導を受ける。自衛隊体験入隊やコスプレなどイベントをやっても盛り上がるのではないかな。 |            |   |                   |   |          |   |                      |
| ⑮  | 坂を通る人      | × | 坂を上ったらポイント        | × | 坂        | = | 坂道ポイント               |
| 朝霞は坂が多く上り下りが大変なため、坂を上ったらポイントが溜まり、ポイントに応じてニンジンプレゼント等あったら楽しい。また坂を利用した坂道ダッシュ大会等を開催するのもいいかもしれない。   |            |   |                   |   |          |   |                      |

今回は、挙がった事業案から具体的に検討を進める事業を決定し詳細の検討をおこなう。

## 第2回ワークショップ

### 【感想】

○本日は楽しめましたか

楽しかった・・・100%

まあまあ・・・0%

それ程楽しくない・・・0%

楽しくない・・・0%

○ワークショップの内容はいかがでしたか

とても難しい・・・0%

やや難しい・・・0%

ちょうど良い・・・100%

やや簡単・・・0%

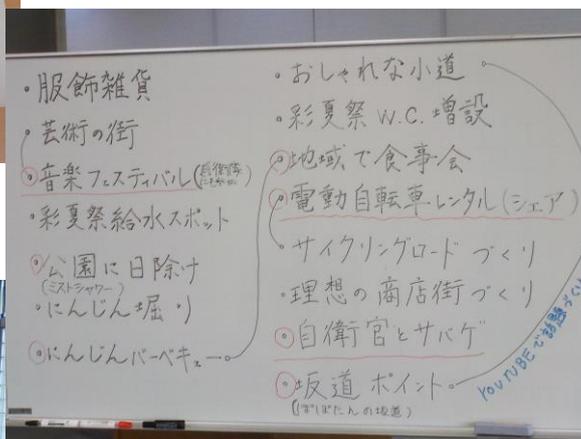
簡単・・・0%

○感想・意見

いろいろな意見が出て、すごい刺激になった。

あっという間の2時間だった。

### 【活動風景】



### 第3回ワークショップ

日 時	平成30年10月15日(月) 18時00分～20時00分
場 所	産業文化センター 第2・3研修室兼会議室
出席者	大学生等 5名 職員 4名
内 容	<p><b>【目的】</b> 前回のワークショップでは、朝霞市にワカモノの賑わいを創出するためにどんなことができるかということをもとに具体的ないくつか挙げて貰った。今回は、その中で、最終的に企画書を作成していくうえで、どのような考えや準備が必要かを考察し、「人目を惹くようなテーマはどれか」を絞る。</p> <p><b>【内容】</b> 前回提案で出た事業を提示し、その中から自分が良いと思うものを2つずつ挙げ、取り組む事業を決定する。次に、まちづくり提案シートを活用して、具体的に事業を展開するにはどんなことが必要かを考えた。</p> <p>＜検討ツール＞</p> <p>考えるにあたり、下記シートを利用し意見をあてはめ企画案を検討した。第2回目のワークショップと大枠は同様のものであるが、前回内容をつめられなかったため、より具体化しやすいように何が求められるかといったことを文言として書き添えた。</p> <p><b>まちづくり提案シート</b> <span style="float: right; font-size: small;">H30.10.15 「ワカモノがASAKAをくる！」第3回ワークショップ *平成30年度政策研究チーム*</span></p> <p>タイトル <input style="width: 600px; height: 25px;" type="text"/></p> <p>○なぜこの提案?(背景)</p> <p><input style="width: 600px; height: 30px;" type="text"/></p> <p>○何のために?(目的・ねらい)</p> <p><input style="width: 600px; height: 30px;" type="text"/></p> <p>○どんなことをするのか(内容)</p> <p>誰に(対象者) いつ どこで 誰が(主催者、協力者、関係機関等) なにをするのか どんな方法で</p> <p style="text-align: center;">など</p> <p>○実現に向けての課題</p> <p>必要な情報 協力者、関係機関の確保 場所の確保 周知方法 経費 必要な物 実現までに必要な時間の確保</p> <p style="text-align: center;">など</p>

<企画案>

上記のワークシートを活用し、前回の事業案の中で、各自が興味を持った内容についてまとめてもらうこととした。なお、候補として挙げられたのは以下のものとなった。

朝霞に若者がぶらぶらできるお店がないため、駅前に雑貨店等とあったらいいのではないか

20~50代 × 芸術・美術 × 丸沼芸術の森 = 芸術の街

村上隆を輩出していることは朝霞のPRポイントになる！芸術の街としてイベント等開催したらいいのでは

20~50代 × 音楽・吹奏楽 × 基地跡地 = 音楽フェスティバル

本田美奈子と尾崎豊を輩出していることは朝霞のPRポイントになる！吹奏楽も強いので音楽の街としてイベント等開催したらいいのではないか。

小学校・保育園・学童 × にんじん × 畑 = ニンジン掘り

朝霞に住む子供たちに朝霞に愛着や郷土愛を持ってもらうため、名産であるニンジン掘りを遠足やイベントで実施する。

子供・親子 × 野菜・特産品販売 × 公園・黒目川沿い = ニンジンバーベキュー

ニンジンバーベキューを無料で配布する。名産であるニンジンを市民に食べてもらい朝霞に愛着や郷土愛を持ってもらう。また地域交流の場として活用する。市街の人には朝霞市をPRする絶好の場となる

サバゲー好き × 自衛隊とサバゲ × 基地跡地 = 自衛官とサバゲ

自衛隊駐屯地があるのも朝霞ならではのPRポイントである。サバゲーで自衛隊と対戦できたらサバゲーをやっている人もやってない人も興味を持って朝霞にくるのではないか。対戦だけでなく自衛隊から指導を受ける。自衛隊体験入隊やコスプレなどイベントをやっても盛り上がるのではないか

【結果】

上記候補のうち、「芸術の街」と「音楽フェスティバル」は関連性があり、芸術と音楽を融合した事業とした。また、「ニンジン掘り」と「ニンジンバーベキュー」も同様に関連性があるため、一つの事業とした。

したがって、①「芸術の街と音楽フェスティバル」、②「ニンジン掘りとニンジンバーベキュー」、③自衛官とサバゲの3つを事業案とした。

また、3つのうち、①について大学生等にて協議を行った。まとめは別途提案書として別添とする。

【感想】

○本日は楽しめましたか

- 楽しかった・・・・・・・・ 60%
- まあまあ・・・・・・・・ 40%
- それ程楽しくない・・ 0%
- 楽しくない・・・・・・・・ 0%

○ワークショップの内容はいかがでしたか

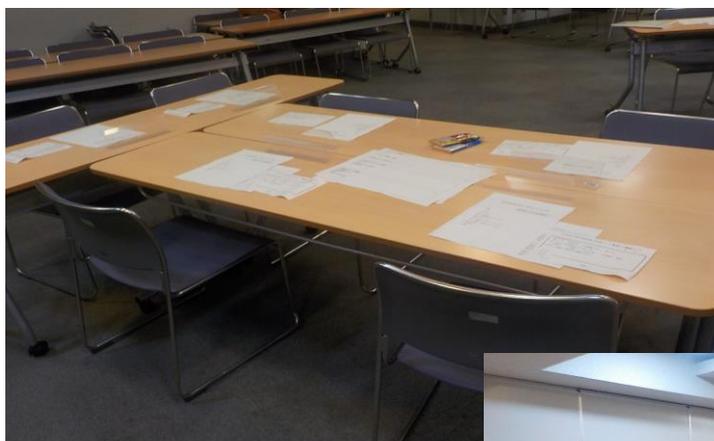
- とても難しい・・・・・・・・ 0%
- やや難しい・・・・・・・・ 20%
- ちょうど良い・・・・・・・・ 80%
- やや簡単・・・・・・・・ 0%
- 簡単・・・・・・・・ 0%

## 第3回ワークショップ

### ○感想・意見

- ・非常に楽しかったのですが、初めての方もいらっしゃって、最後の方によくわいわいになってきたので、もっと活発な感じになったらいいなと思いました。
- ・自分の地元などと照らし合わせて考えたり、他の人の地元などの意見をきくことができおもしろかったです。
- ・どの意見もボツにするのはもったいないほど面白い意見だなと思いました。
- ・朝霞市のことを発信するために、朝霞市のことを考えると改めて魅力を感じる事ができた。次はもっとはっきりした形に話が進むようにがんばりたいと思います。
- ・知っている土地では無いので、話についていけない部分もあった。

### 【活動風景】



第4回ワークショップ

日 時	平成30年11月1日（月） 15時00分～17時00分
場 所	朝霞市役所 502会議室
出席者	大学生等3名 職員3名
内 容	<p><b>【目的】</b>          前回選んだあさかの賑わいを創出するための事業案について、どのようなイメージを描いているのか、実施方法や準備などについて具体的に検討し、参加者の意見を引き出す。</p> <p><b>【内容】</b>          ②にんじん掘り・バーベキューと、③自衛官とサバグと悩んだ結果、まずは親しみやすさ取り掛かりやすさから②を検討することにした。</p> <p style="text-align: center;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">小学校・保育園・学童</span> × <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">にんじん</span> × <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">畑</span> = <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ニンジン掘り</span> </p> <p style="text-align: center; font-size: small;">朝霞に住む子供たちに朝霞に愛着や郷土愛を持ってもらうため、名産であるニンジン掘りを遠足やイベントで実施する。</p> <p style="text-align: center;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">子供・親子</span> × <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">野菜・特産品販売</span> × <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">公園・黒目川沿い</span> = <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ニンジンバーベキュー</span> </p> <p style="text-align: center; font-size: small;">ニンジンバーベキューを無料で配布する。名産であるニンジンをも市民に食べてもらい朝霞に愛着や郷土愛を持ってもらう。また地域交流の場として活用する。市街の人には朝霞市をPRする絶好の場となる</p> <p><b>【結果】</b></p> <p>■タイトル：にんじんレシピコンテスト</p> <p>■選んだ理由：やはり朝霞といえばにんじんだと思う。にんじんの葉や皮まで使った食べ方など知らない人が多いため、にんじんの使い方を市民に広めたい。</p> <p>■イベント案：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマを決めて、にんじんを使ったレシピを①市民と②飲食店から募集し、グランプリを決定する。参加しやすいよう、①市民と②飲食店の他、①市民は年代や親子等で区分する。</li> <li>・レシピは「にんじんと〇〇」等、毎年テーマを変える。にんじんだけでは弱いかもしれないが、スイーツは人気のはず。</li> <li>・グランプリは、市民及び飲食店からの投票によって決定する。たくさんの方に投票してもらえるよう、投票者にも投票数に応じてプレゼントがあると良い（人参等）。</li> <li>・コンテストに参加したレシピは、冊子やインターネットで公開し、いろんな方がチャレンジしやすいようにしたい。また、参加した飲食店はマップを作成し、公開する。</li> <li>・飲食店でメニューに取り入れてもらう。</li> <li>・その他、芸術要素を入れたイベントの開催。              （にんじんでハンコ作り、にんじんの葉で絵を描く、等）</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存のイベントや取り組みとどう繋がれるか。</li> </ul>



## 第4回ワークショップ

やや簡単・・・・・・・・ 0%

簡単・・・・・・・・ 0%

### ○感想・意見

- 他の方の意見を聞いて、こういう考え方もあるのか！と良い刺激になり、もっと朝霞市に関わっていきたいと感じた。普段こういった機会はないため、すごくいい経験になると思った。
- 少人数だったため、話しやすく楽しく進められた。友人が、市役所は行きにくいと言っていた。産業文化センターの方が朝霞市外の子は行きやすいよう。
- 非常に和気あいあいと様々な意見が出て、話が盛り上がり充実した時間になった。継続的に毎回会えるメンバーがいると、雰囲気も柔らかくなり活動しやすい。次回も楽しみ。

### 【活動風景】



第5回ワークショップ

日 時	平成30年11月29日(木) 15時00分～17時00分																																						
場 所	産業文化センター 第1研修室兼会議室																																						
出席者	大学生等2名 職員3名																																						
内 容	<p>【目的】            第1回ワークショップ課題の意見を参考に、市民、特に青少年の意見を市に取り入れるため、アプリ等の市と市民がつながるツール案を検討する。            高校班の活動の紹介をする(ぽぽたん風パフェの実食(トモソダチ Café COZY))。</p> <p>【第1回ワークショップ課題結果】</p> <table border="1" data-bbox="284 748 1445 2060"> <thead> <tr> <th data-bbox="284 748 352 860"></th> <th data-bbox="352 748 719 860">Q1.アンケートはどのような媒体で行いますか？</th> <th data-bbox="719 748 1082 860">Q2.アンケートではどのようなことを聞きますか？</th> <th data-bbox="1082 748 1445 860">Q3.どのような工夫をすれば、若い人たちに今よりも意見や提案をして貰えると思いますか？</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="284 860 352 943">1</td> <td data-bbox="352 860 719 943">回覧板、SNSのアンケート機能</td> <td data-bbox="719 860 1082 943">市に力を入れてほしい事業、市の交通手段の不便なところ、災害避難場所を知っているか</td> <td data-bbox="1082 860 1445 943">参加してくれた人へオカカードや図書券などのプレゼントを用意する</td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 943 352 1072">2</td> <td data-bbox="352 943 719 1072">①街頭でアンケートの協力をお願いする。 ②人がよく集まる場所やイベントにてアンケートを配布する。</td> <td data-bbox="719 943 1082 1072">①朝霞市にあつたら、良い施設、制度イベント。はい、いいえで終わらせないような形です。</td> <td data-bbox="1082 943 1445 1072">若者の声を本当に必要としているという気持ちを率直に伝え続ける必要があると思います。なるべく重要感を感じてもらえるような雰囲気の中で伝える機会を掘めたらと思います。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 1072 352 1274">3</td> <td data-bbox="352 1072 719 1274">SNS・学校や公共施設に意見箱を設置</td> <td data-bbox="719 1072 1082 1274">不満や不便に思うところ、疑問に思っていることややって欲しい活動やイベント、市の良い所</td> <td data-bbox="1082 1072 1445 1274">何よりもまず、興味をもってもらうことが重要だと思うので、学校や駅近くのお店などにアンケートボックスや現状でどんなことを若い人たちに聞きたいかなどをなるべく多く目に入るようにして、市への関心をもってもらう。また、紙に書くのがめんどうだと思う人もいると思うので、市のSNS(Twitter、LINE等)を作り、簡単に情報や意見を共有し合う。さらに、市の活動内容や出た意見を週1くらいでSNSなどにあげ、興味を引く。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 1274 352 1429">4</td> <td data-bbox="352 1274 719 1429">スマホ、LINEのアンケート機能</td> <td data-bbox="719 1274 1082 1429">どんなお店があると嬉しい？(みんなが何を求めているか分かる) 駅にあると便利なものは？(駅に降りた時に良い印象になるのでは) 自分が住むとしたらどこに住みたい？(どのような街に住みたいのか実例をあげるとわかりやすそう)</td> <td data-bbox="1082 1274 1445 1429">「アンケートにお答えしていただくと〇〇無料クーポン！」というとみんな興味を持つと思う 例としてファミチキや、夏ならアイス、冬なら肉まんなど</td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 1429 352 1561">5</td> <td data-bbox="352 1429 719 1561">SNS</td> <td data-bbox="719 1429 1082 1561">どんなイベントがあつたら参加したいか こんなものがあつたら便利だなと思うものはあるか(公園、駅前のターミナルをもっと広くして欲しいなど)</td> <td data-bbox="1082 1429 1445 1561">簡単に手軽にできるようなアンケートを作る アンケートを書いてくれた方に市のオリジナルグッズをプレゼントなど</td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 1561 352 1731">6</td> <td data-bbox="352 1561 719 1731">・インターネット(Twitter、市の公式サイトetc...) ・大勢の人が集まるような行事</td> <td data-bbox="719 1561 1082 1731">・年齢 20未満/30/40/50/60/70以上 ・性別 男/女 ・今の地域での暮らしに満足しているか？ Yes/No ・出来ることなら他の地域に住みたい。 Yes/No ・朝霞市に住んでいてメリットはあるか。 Yes/No ・改善してほしい所がある。 Yes/No *【改善してほしい所がある。】でYesと答えた人へ具体的にどこなところを改善するべきか？</td> <td data-bbox="1082 1561 1445 1731">・インターネットを使って簡単に意見をいただける環境を作る。 ・Yes/No方式にすることでより簡単にアンケートに答えられる。 ・年齢、性別を聞くことで、どんな層の人たちにどう思われているのかが分かる。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 1731 352 1899">7</td> <td data-bbox="352 1731 719 1899">・スマートフォンで答えることができるアンケートが良いと思う。例えばイベントなどで配るうちにQRコードを付けておき、それを読み込むとアンケートフォームにつながるようになっておくと若者にも気軽にアンケートに答えてもらえると思う。</td> <td data-bbox="719 1731 1082 1899">・これからも残していきたい朝霞市の伝統、文化 ・他の市町村には負けないという朝霞市の自慢(一伸びすべき特徴が分かる) ・朝霞市の危険だと思える設備 ・思った事なら何でも受け付ける (一言いたいことがあるにも関わらず、対応する項目がなかった場合に対応できる)</td> <td data-bbox="1082 1731 1445 1899">・文章のみで答えてもらうのではなく、写真がメインで答える形のアンケートが良いと思う。言葉にしづかったり、言葉ではどうしても伝わりにくいこともあると思うので、写真とそれに対する一言を送ってもらう形にすると若者でも気軽に意見や提案をしてくれると思う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 1899 352 2060">8</td> <td data-bbox="352 1899 719 2060">スマホ対応のアンケートサイト、デスクトップ対応のアンケート用紙 自分の意見が該当するところにシールが貼れる掲示板</td> <td data-bbox="719 1899 1082 2060">不便に感じたところ、あつたらいいなと感じたところなどの改善点 満足しているところや満足の度合い</td> <td data-bbox="1082 1899 1445 2060">朝霞市で行うイベントにて設置、もしくは配布する(出入口等に回収用のボックスを作るなど) TwitterアカウントなどのSNSにてアピールする QRコードで読み取れるようなアンケートサイトにする</td> </tr> </tbody> </table>				Q1.アンケートはどのような媒体で行いますか？	Q2.アンケートではどのようなことを聞きますか？	Q3.どのような工夫をすれば、若い人たちに今よりも意見や提案をして貰えると思いますか？	1	回覧板、SNSのアンケート機能	市に力を入れてほしい事業、市の交通手段の不便なところ、災害避難場所を知っているか	参加してくれた人へオカカードや図書券などのプレゼントを用意する	2	①街頭でアンケートの協力をお願いする。 ②人がよく集まる場所やイベントにてアンケートを配布する。	①朝霞市にあつたら、良い施設、制度イベント。はい、いいえで終わらせないような形です。	若者の声を本当に必要としているという気持ちを率直に伝え続ける必要があると思います。なるべく重要感を感じてもらえるような雰囲気の中で伝える機会を掘めたらと思います。	3	SNS・学校や公共施設に意見箱を設置	不満や不便に思うところ、疑問に思っていることややって欲しい活動やイベント、市の良い所	何よりもまず、興味をもってもらうことが重要だと思うので、学校や駅近くのお店などにアンケートボックスや現状でどんなことを若い人たちに聞きたいかなどをなるべく多く目に入るようにして、市への関心をもってもらう。また、紙に書くのがめんどうだと思う人もいると思うので、市のSNS(Twitter、LINE等)を作り、簡単に情報や意見を共有し合う。さらに、市の活動内容や出た意見を週1くらいでSNSなどにあげ、興味を引く。	4	スマホ、LINEのアンケート機能	どんなお店があると嬉しい？(みんなが何を求めているか分かる) 駅にあると便利なものは？(駅に降りた時に良い印象になるのでは) 自分が住むとしたらどこに住みたい？(どのような街に住みたいのか実例をあげるとわかりやすそう)	「アンケートにお答えしていただくと〇〇無料クーポン！」というとみんな興味を持つと思う 例としてファミチキや、夏ならアイス、冬なら肉まんなど	5	SNS	どんなイベントがあつたら参加したいか こんなものがあつたら便利だなと思うものはあるか(公園、駅前のターミナルをもっと広くして欲しいなど)	簡単に手軽にできるようなアンケートを作る アンケートを書いてくれた方に市のオリジナルグッズをプレゼントなど	6	・インターネット(Twitter、市の公式サイトetc...) ・大勢の人が集まるような行事	・年齢 20未満/30/40/50/60/70以上 ・性別 男/女 ・今の地域での暮らしに満足しているか？ Yes/No ・出来ることなら他の地域に住みたい。 Yes/No ・朝霞市に住んでいてメリットはあるか。 Yes/No ・改善してほしい所がある。 Yes/No *【改善してほしい所がある。】でYesと答えた人へ具体的にどこなところを改善するべきか？	・インターネットを使って簡単に意見をいただける環境を作る。 ・Yes/No方式にすることでより簡単にアンケートに答えられる。 ・年齢、性別を聞くことで、どんな層の人たちにどう思われているのかが分かる。	7	・スマートフォンで答えることができるアンケートが良いと思う。例えばイベントなどで配るうちにQRコードを付けておき、それを読み込むとアンケートフォームにつながるようになっておくと若者にも気軽にアンケートに答えてもらえると思う。	・これからも残していきたい朝霞市の伝統、文化 ・他の市町村には負けないという朝霞市の自慢(一伸びすべき特徴が分かる) ・朝霞市の危険だと思える設備 ・思った事なら何でも受け付ける (一言いたいことがあるにも関わらず、対応する項目がなかった場合に対応できる)	・文章のみで答えてもらうのではなく、写真がメインで答える形のアンケートが良いと思う。言葉にしづかったり、言葉ではどうしても伝わりにくいこともあると思うので、写真とそれに対する一言を送ってもらう形にすると若者でも気軽に意見や提案をしてくれると思う。	8	スマホ対応のアンケートサイト、デスクトップ対応のアンケート用紙 自分の意見が該当するところにシールが貼れる掲示板	不便に感じたところ、あつたらいいなと感じたところなどの改善点 満足しているところや満足の度合い	朝霞市で行うイベントにて設置、もしくは配布する(出入口等に回収用のボックスを作るなど) TwitterアカウントなどのSNSにてアピールする QRコードで読み取れるようなアンケートサイトにする
	Q1.アンケートはどのような媒体で行いますか？	Q2.アンケートではどのようなことを聞きますか？	Q3.どのような工夫をすれば、若い人たちに今よりも意見や提案をして貰えると思いますか？																																				
1	回覧板、SNSのアンケート機能	市に力を入れてほしい事業、市の交通手段の不便なところ、災害避難場所を知っているか	参加してくれた人へオカカードや図書券などのプレゼントを用意する																																				
2	①街頭でアンケートの協力をお願いする。 ②人がよく集まる場所やイベントにてアンケートを配布する。	①朝霞市にあつたら、良い施設、制度イベント。はい、いいえで終わらせないような形です。	若者の声を本当に必要としているという気持ちを率直に伝え続ける必要があると思います。なるべく重要感を感じてもらえるような雰囲気の中で伝える機会を掘めたらと思います。																																				
3	SNS・学校や公共施設に意見箱を設置	不満や不便に思うところ、疑問に思っていることややって欲しい活動やイベント、市の良い所	何よりもまず、興味をもってもらうことが重要だと思うので、学校や駅近くのお店などにアンケートボックスや現状でどんなことを若い人たちに聞きたいかなどをなるべく多く目に入るようにして、市への関心をもってもらう。また、紙に書くのがめんどうだと思う人もいると思うので、市のSNS(Twitter、LINE等)を作り、簡単に情報や意見を共有し合う。さらに、市の活動内容や出た意見を週1くらいでSNSなどにあげ、興味を引く。																																				
4	スマホ、LINEのアンケート機能	どんなお店があると嬉しい？(みんなが何を求めているか分かる) 駅にあると便利なものは？(駅に降りた時に良い印象になるのでは) 自分が住むとしたらどこに住みたい？(どのような街に住みたいのか実例をあげるとわかりやすそう)	「アンケートにお答えしていただくと〇〇無料クーポン！」というとみんな興味を持つと思う 例としてファミチキや、夏ならアイス、冬なら肉まんなど																																				
5	SNS	どんなイベントがあつたら参加したいか こんなものがあつたら便利だなと思うものはあるか(公園、駅前のターミナルをもっと広くして欲しいなど)	簡単に手軽にできるようなアンケートを作る アンケートを書いてくれた方に市のオリジナルグッズをプレゼントなど																																				
6	・インターネット(Twitter、市の公式サイトetc...) ・大勢の人が集まるような行事	・年齢 20未満/30/40/50/60/70以上 ・性別 男/女 ・今の地域での暮らしに満足しているか？ Yes/No ・出来ることなら他の地域に住みたい。 Yes/No ・朝霞市に住んでいてメリットはあるか。 Yes/No ・改善してほしい所がある。 Yes/No *【改善してほしい所がある。】でYesと答えた人へ具体的にどこなところを改善するべきか？	・インターネットを使って簡単に意見をいただける環境を作る。 ・Yes/No方式にすることでより簡単にアンケートに答えられる。 ・年齢、性別を聞くことで、どんな層の人たちにどう思われているのかが分かる。																																				
7	・スマートフォンで答えることができるアンケートが良いと思う。例えばイベントなどで配るうちにQRコードを付けておき、それを読み込むとアンケートフォームにつながるようになっておくと若者にも気軽にアンケートに答えてもらえると思う。	・これからも残していきたい朝霞市の伝統、文化 ・他の市町村には負けないという朝霞市の自慢(一伸びすべき特徴が分かる) ・朝霞市の危険だと思える設備 ・思った事なら何でも受け付ける (一言いたいことがあるにも関わらず、対応する項目がなかった場合に対応できる)	・文章のみで答えてもらうのではなく、写真がメインで答える形のアンケートが良いと思う。言葉にしづかったり、言葉ではどうしても伝わりにくいこともあると思うので、写真とそれに対する一言を送ってもらう形にすると若者でも気軽に意見や提案をしてくれると思う。																																				
8	スマホ対応のアンケートサイト、デスクトップ対応のアンケート用紙 自分の意見が該当するところにシールが貼れる掲示板	不便に感じたところ、あつたらいいなと感じたところなどの改善点 満足しているところや満足の度合い	朝霞市で行うイベントにて設置、もしくは配布する(出入口等に回収用のボックスを作るなど) TwitterアカウントなどのSNSにてアピールする QRコードで読み取れるようなアンケートサイトにする																																				

【内容】

市民、特に青少年の意見を取り入れる方法として、アプリ等の媒体について提案、検討してもらった。

■アプリの他市事例を紹介、朝霞市独自の市民とのコミュニケーションアプリがあったとしたら…。

## 自治体アプリについて考えよう！

「若い方から、市に対するご意見を聞きたい！

どういった方法（アンケート）をしたら良いか・・・」

このことについて、以前、皆さんに考えてもらいました！

その結果は、**SNSの活用** という意見が一番多くありました。

その意見を踏まえ、職員で検討した結果、**アプリの活用** という意見にたどり着きました。

- SNSをやっていない方も意外と多い
- ほとんどの方がスマートフォンを持っている
- 自治体でアプリを作成した先達事例がたくさんあり、いいところを取り入れられる！

### 朝霞市のアプリ・・・こんなものがあったら良いのでは！？

<4つのメニュー>

<p>○市民が自由に書き込める機能(Yahoo!知恵袋のようなイメージ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民自身から市内情報を発信、共有</li> <li>・市民同士の質問回答や意見交換</li> </ul> <p>ねらい：地域の情報を得る場、市民同士の交流の場とする。今より市に興味関心をもってもらう。</p>	<p>○市への要望を伝える機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民から市への意見・要望を発信</li> <li>・ある一定数を超える意見については、優先事項とし判断し、市が改善等に取り組む。</li> </ul> <p>ねらい：市民の意見を取り入れ、市民と一緒に市を作っていく。</p>
<p>○クーポン機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に市内飲食店・企業等のクーポンを作成、配布。</li> </ul> <p>ねらい：アプリを利用してもらう、継続してもらうための機能。</p>	<p>○市から情報発信する機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イベントや補助金、防災、ぼぼたん出現情報、ごみ収集等、タイムリーに市民へ情報発信する</li> </ul> <p>ねらい：タイムリーに情報を発信することで、市民に市の情報を的確に届ける。</p>

【結果】

■普段使用する SNS・アプリ

Gメール、LINE、Twitter、Facebook、Instagram、電子マネー利用アプリ、ポイントカードアプリ、クーポンアプリ

- ・周りの子は Instagram を利用しているが、自分は使っていない
- ・Facebook、Twitter は情報収集用として使っている
- ・クーポンがもらえるアプリは、クーポン目的で使っている

■アプリに対する意見

- ・SNS だと個人情報ひも付けされているため、閲覧はしても「いいね」や「意見」等は躊躇してしまう。その点はアプリのほうが使いやすい。
- ・アプリをいれると携帯が重くなるため、メリットがないとアプリをいれない。

## 第5回ワークショップ

- アプリが出来たら既存グループ（鳴子チーム等）に使用してもらえば、広がっていくのでは。口コミが一番効果的だと思う。
- 50代の両親はスマホを持っていない。アプリは青少年向けになる。

### ■アプリにあったらいいなと思う機能

- クーポンは絶対にあっただ方が良い。それだけで利用してくれる人が増えると思う。特にチェーン店のクーポン（ファミレス、コンビニ等）。
- 市内のお店のクーポンは、市内のお店を知るきっかけになる。
- 市内のスーパーのチラシが見比べられる。類似アプリはあるが、地域でまとまっていると嬉しいし、使うと思う。
- ぱん屋の焼きたて時間通知等、市内の情報がリアルタイムで手に入ると良い。
- 生活で使う機能（メール、情報検索（市の情報ではない）、乗り換え案内等）

### ■他、青少年の意見を取り入れるには

- そもそも青少年は、市に興味を持って人が少ない。興味のある人は、自分たちのように多かれ少なかれ情報収集していると思う。
- 青少年は、学校やアルバイト等で朝霞市にいる時間が短いため、市を身近に感じられない。
- 就職しても、朝霞市に住みたいと思ってる人は多くないと思う。
- 市と青少年の距離感を近づけたい、興味を持ってもらいたい。
- 鳴子チーム等、既存の青少年が集まっているチームに声をかけると良いのでは。
- 町内会などの活動も活発になり青少年の参加率が上がれば、市と青少年が関わる機会が増えて、市のこと知ってもらえる→興味を持ってもらえるのでは。

### 【ぼぼたん風パフェ実食】



## 第5回ワークショップ

### 【感想】

○本日は楽しめましたか

楽しかった・・・・・・・・100%

まあまあ・・・・・・・・0%

それ程楽しくない・・0%

楽しくない・・・・・・・・0%

○ワークショップの内容はいかがでしたか

とても難しい・・・・・・・・0%

やや難しい・・・・・・・・50%

ちょうど良い・・・・・・・・50%

やや簡単・・・・・・・・0%

簡単・・・・・・・・0%

○感想・意見

- ・これまでと異なる内容で、新たな考える視点となった。アプリの利用は非常にむずかしいところだなと思う。ぽぼたん風パフェ美味しかった。
- ・話し合いで良い意見を出せたかわからないが、朝霞市のために考えることができて良かった。ぽぼたん風パフェ美味しかった、また食べに来たい。

### 【活動風景】



### 3) まとめ

2) で述べた通り、ワークショップをとおして「青少年が住みたい街とは」「朝霞に青少年の賑わいを創出するためには」というテーマで参加者と一緒に考えてきた。この活動を受けて、①青少年が考える理想の街と、②青少年との関り方について焦点を当て、以下にまとめる。

始めに、①について記述する。

ワークショップでは、「朝霞の印象」及び「理想の街」について意見を出し合い、その意見から理想の街に近づくため、「朝霞に青少年の賑わいを創出する方法」を検討した。朝霞市民の参加者は少数だったが、その分、朝霞の印象に囚われず、参加者の地元の良い部分と比較しながら、多様な意見を交わすことができた。私たちは、参加者の発想の糸口となるようワークシートを活用したり、また意見を誘導しないよう配慮を行い、参加者の考えや発想が広がるように努めた。

その中で総じて参加者から感じられた理想の街への思いは、住みやすいこと、特有のものがあること、地域の人との繋がりがあることであった。なかでも、賑わいを創出する方法を検討する際、ニンジンや自衛隊、朝霞出身のアーティストなど朝霞の特徴をどう活かすか、いかに朝霞のことを知ってもらうか、青少年に興味をもってもらうかを大事にしていた。賑わいを創出する方法については、参加者と私たちが一緒に考え、最終的に3つの企画案を作成した。この企画案については最後に紹介する。

以上のことから青少年にとって、生活上の利便性だけでなく、「人のつながりがある街」、「興味をもて身近に感じられる街」、「特徴がある付加価値のある街」、が住みたいと思う理想の街の形の1つであると思われる。こうしたまちづくりを進めることで、青少年にとって朝霞はただの住む場所ではなく、好きな街、たとえ離れても帰ってきたい街、住んでみたい街に変わっていくのではないかと考える。

次に、②について私たちが今回の活動をとおして感じたことを記述する。

私たちはインタビューとワークショップという方法で青少年と関りをもった。彩夏祭で実施したインタビューでは、多くの青少年が足を止め、快く回答してくれた。イベントの力を借りることで、青少年の協力を得やすくなると感じた。

ワークショップは、青少年の意見や思いを深く聴取し、一緒にどうしたら良いか考えていくにはとても良い方法であったと感じる。継続して関わることで、参加者と距離が近くなり、意見交換を積み上げていくことができたからである。参加者からも、「思っていることを伝え、共有できて良かった」「色んな人の意見を聞けて刺激になった」「また地域の活動に参加したい」といった感想が聞かれた。一方で、ワークショップの運営に関しては反省点が多くあった。反省点と併せて、

青少年と関わるうえで大切にすべきと感じたことを次に記述する。

青少年は将来を選択する大事な時期であったり、生活が変化を迎えたばかりであったりと心身ともに忙しく、本当に興味のあることやメリット、魅力を感じることでないと、参加までには至らない。その際、参加者から友人の紹介があれば安心する、仲間と一緒に参加しやすい等の意見があった。このことから、ポスターやホームページ等の一方的な周知だけでなく、口コミの利用など積極的なきっかけ作りや、既存団体に活動協力を仰げれば、青少年が安心して参加しやすい環境になるのではと感じた。

応募者は17人いたが、最終的に参加者は2～3人の固定メンバーとなった。これは、青少年の生活スタイルが多種多様で会合の日時設定がうまく合致しなかったことや、参加者がモチベーションを維持できず、活動に楽しさや達成感を得られなかったこと等が大きな要因ではないかと考えている。これらの点は、11月までに活動に区切りをつけなければならないという焦燥感から、活動の進みを焦り、私たちの配慮が行き届かなかった部分であったと痛感している。

まず会合の日時・場所だが、これは参加者の意見を聞いた上で決定したが、それでも参加できない者がいた。事前に内容について意見をもらったり、SNSを利用する等、忙しい青少年の負担を考え、会合に出席せずとも参加できる方法を検討する余地があったのではないかと感じた。

次に、モチベーションや楽しさ・達成感については、会合を月1回としたため、次の会合まで気持ちを維持することが難しかったためと考えられる。青少年の負担を考慮しての設定だったが、次の会合までの合間に、メールやSNSを利用して進捗状況や情報を発信するなど、モチベーションを維持する工夫ができたのではないかと感じた。高校生班の活動の紹介としてぼぼたん風パフェを美食した際、参加者からは「何か目に見える成果があると嬉しかった」「経験となる物事にひかれる人はいると思う」といった意見が聞かれた。今回の活動では、直ぐに実現可能なことに捉われずに意見を出してほしいという思いと活動の頻度・時間的な問題から、ワークショップの成果は企画案といった机上のものとなった。しかし、青少年が活動に参加する魅力として、“楽しさ”や“達成感”をもっと大事にすべきであったと感じている。楽しさを感じてもらうためには、アイスブレイクでゲームを取り入れるなど、参加者同士の話しやすい雰囲気づくりに力を入れることも重要だと感じた。

今回の活動をとおして、ワークショップの参加者のように、青少年にも市やまちづくりに興味をもっている者、地域に関わりたいと感じている者は多く存在するということが分かった。無関心層を含めた青少年全体へのアプローチも必要だと考えるが、こうした興味・関心のある青少年と一緒に考えることで、青少

年の自由で柔軟な発想をまちづくりに反映できるのではと感じた。こうした青少年とどう繋がり、どう携わっていくか、今回の活動をもとにさらに考えを深めていければと良い思う。

最後に今回の活動で大学生等と一緒に考えた、朝霞の賑わいを創出する事業の企画案をここで紹介する。実施には至らなかったが、青少年の思いを盛り込んだ企画であり、今後、各課が青少年を対象とした催しやまちづくりを検討する際の参考にしていただければ幸いである。

# 『朝霞 VS フィールド』

## ①はじめに

政策研究チームとして「青少年の声を生かした朝霞のまちづくりを考える ～賑わいの創出など新しい朝霞を作るために～」を目的に活動した結果、この提案書に記載するイベントを提案する。

## ②概要

朝霞ならではの強みである「自衛隊駐屯地」と「東京オリンピック射撃競技会場」の2つを生かしつつ、そこに「サバイバルゲーム」を追加し朝霞のPRと賑わいの創出を目指す。

朝霞の森及び基地跡地をサバイバルゲーム場として整備運営を行う。

運営に際し、自衛隊やその他団体と協力し、イベントを開催するとともに、射撃体験などにより東京オリンピックに向け機運を高めることを目的とする。

## ③背景

朝霞市に自衛隊朝霞駐屯地が1960年に開設され、1964年東京オリンピックの射撃会場として使用された。そして2020年東京オリンピックでも射撃会場となることが決定している。

「自衛隊」と「射撃」にゲーム性を付加し一般人が近づきやすく、興味を持つように近年話題性が高まりつつある「サバイバルゲーム」を取り込みイベントを企画する。

現在、サバイバルゲーム場は増加傾向にあり全国的に数を伸ばしている。なかでも関東、特に埼玉・千葉県で急激に増加している。



## ④実施案

- I. サバイバルゲーム場の開設
- II. 自衛隊とサバイバルゲーム対決
- III. 自衛隊による講習会
- IV. 射撃体験
- V. コスプレ撮影会
- VI. 戦車等の展示
- VII. 自衛隊入隊体験
- VIII. イベントゲーム（例：ぼぼたんを捕まえ

ろ！、MAD サバゲー、UAB)

## ⑤目的

朝霞を「朝霞 VS フィールド」を通じ知ってもらおう。

朝霞に「住みやすい街」だけでなく「訪れる場」「集まる場」といった価値を付与する。

対象者は大きく3つに分かれる。

対象者① サバイバルゲーマー

対象者② 自衛隊好き（インパルス女子等）

対象者③ 発信力の強い若者

## ⑥サバイバルゲームのルール

2チームに分かれて弾を敵に命中させて倒すのが基本ルールとなる。

勝敗の決定方法は敵陣に設置されたフラッグを取る、あるいは相手チームを全員ヒットして全滅させるなど、いくつかの種類がある。

弾がヒットしたかどうかの判定は当てられた側の自己申告制である。

## ⑦MAD サバゲーとは

世界観再演系サバゲーの一種であり、荒廃した世紀末をテーマとしたゲーム。

参加者は漫画「北斗の拳」や映画「MADMAX」のキャラクターのような恰好をし参加する。

使用する武器も銃だけでなく剣や斧、投擲武器など既存ルールに縛られず自由である。

勝敗ではなく世界観を楽しむゲームである。

## ⑧UABとは

スポーツ競技化したサバイバルゲーム。

ヒットの判定を自己申告だけでなく審判が付き判定を補助する。

また、UABでは1人対1人、3人対3人といった少人数で対戦する。大会が開催され競技として楽しむことができる。

## ⑨要件

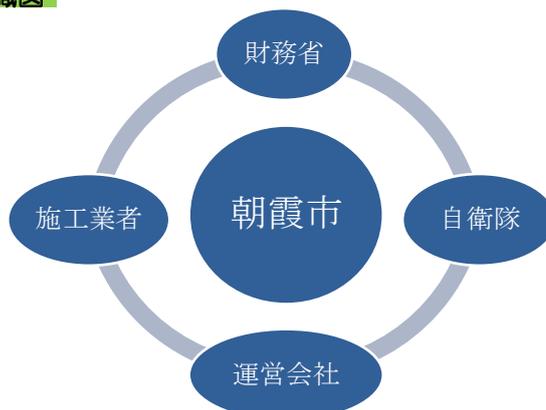
朝霞の森、基地跡地の利用・整備認可

フィールドの整備

自衛隊の協力

イベント会社の協力

## ⑩組織図



# 『ファンタスティック・フォレスト』

## ①はじめに

政策研究チームとして「青少年の声をいかした朝霞のまちづくりを考える～賑わいの創出など新しい朝霞を作るために～」を目的に活動した結果、この提案書に記載するイベントを提案する。

## ②概要

朝霞の森及び陸上競技場を会場として運営を行う。

会場では、国内外の芸術家に協力してもらい、彫刻などの作品を展示、イベント会社に協力を図り、プロジェクションマッピングを行う、よさこい鳴子踊りを会場内にて披露し、会場内でアマ・プロの音楽家を募り音楽を演奏し、目と耳で芸術を楽しめる芸術展を開催する。

## ③背景

朝霞市は、尾崎豊や本田美奈子等の音楽関係の有名人の出身地であり、全国規模の大会で表彰されている朝霞市立第一中学校の吹奏楽等、音楽に対して非常に係わり合いのある都市である。また、芸術関係では、丸沼芸術の森で芸術家を輩出しており、村上隆等の著名人もここを拠点として活動していたといった経緯がある。さらに、彩夏祭では、平成6年からよさこい鳴子踊りを催しており、伝道芸能とも深く係わり合いが

ある。

音楽や美術、踊りといった芸術に造詣が深いという強みを活かし、朝霞市を芸術の街としてPRする。

## ④目的

朝霞市に、より芸術に対するイメージを付与し朝霞市といえば芸術の街である、といった付加価値を設けることで、他の市町村とは違った特色を付与することが出来る。また、芸術の街には、下北沢や吉祥寺といった若者を惹きつける要素があり、イメージの定着に成功することで、市内での若者の活躍が見込め、若者の賑わいを市内で創出することが出来る。

## ⑤実施案

- I. 音楽フェスティバルの開催
- II. 音楽フェスティバルの会場で美術品等の展示
- III. よさこい鳴子踊りの披露
- IV. 音楽に合わせてプロジェクションマッピングで映像展を開催

## ⑥要件

朝霞の森・陸上競技場の使用における近隣住民等への配慮  
芸術家等の参加

# 『ニンジンレシピコンテスト』

## ①はじめに

政策研究チームとして「青少年の声を生かした朝霞のまちづくりを考える ～賑わいの創出など新しい朝霞を作るために～」を目的に活動した結果、この提案書に記載するイベントを提案する。

## ②概要

朝霞の特産であるニンジンを使った市民参加型のイベントを実施することで、特産品のPRをするとともに、朝霞への愛着や郷土愛を強める。また、地域の繋がりの場を作る。

イベントとして、市民及び市内飲食店からレシピを募集し、コンテストを実施する。レシピはホームページ掲載や、各所にチラシ配布、飲食店のニンジンメニューMAPを作成する等、広く周知を図る。コンテストの表彰式ではニンジン等朝霞の特産品を用いたアートイベント等を同時開催する。

## ③背景

ニンジンは朝霞市の代表的な特産品であり、現在では指定産地として指定され、県内有数の出荷量を誇る。平成30年4月には「シティ・セールス朝霞ブランド」に再認定された。朝霞台駅・北朝霞駅周辺にはニンジンをかだとったモニュメントが存在し、ニンジンを素材とした菓子や食品、料理が多く存在し、地元産の野菜として市民に親まれている。

半面、青少年からはニンジンの葉や皮まで使った食べ方を知らない人が多いという意見があった。

特産品であるニンジンがさらに多くの市民に親しまれるよう、ニンジンに特化したイベントを開催する。

## ④目的

市民に特産品であるニンジンに親しみをもってもらい、朝霞への愛着や郷土愛を強めることで、「朝霞に住み続けたい」、「離れても戻ってきたい」といった思いを育てる。

併せて、特産品であるニンジンのPRをし、朝霞全体の賑わいの創出につなげる。

## ⑤実施案

### I. ニンジンレシピコンテスト

- ・毎年変わるテーマを設定（あったかいニンジン料理、ニンジンを使ったスイーツ、さつまいもとニンジン料理等）
- ・市民及び市内飲食店からレシピを募集（市民は年代や親子等で区分）
- ・応募のあったレシピごとに試食ブースを設置。ワンコインで試食でき、気に入ったものに投票してもらう。試食した数だけ投票できる
- ・投票者にも投票数に応じてプレゼントを贈呈

### II. ニンジンレシピコンテスト表彰式

- ・各区分ごとにグランプリを決定、表彰及びプレゼント贈呈

### III. その他イベント

- ・ニンジン等朝霞の特産品を用いたアートイベントを同時開催（ニンジンでハンコ作り、ニンジンの葉で絵画等）
- ・朝霞の特産品による飲食コーナーを設置

### IV. レシピの周知

- ・ホームページ、SNS、広報掲載
- ・レシピカードにし、公共施設、小中学校、市内スーパー等商店で配布
- ・飲食店のニンジンメニューMAPの作成
- ・料理教室の開催

## ⑥要件

市内農家、飲食店の協力  
既存事業との調整  
継続性の確保

### (3) 他課から依頼されたアンケート

#### 1) 経緯

今回の政策研究チームの活動は主に、高校生班と大学生班に分かれて実施をしたが、その活動の中で他課から依頼を受けアンケートを実施した。

私たち政策研究チームの活動では、各班で高校生や大学生等と定期的なミーティングを実施していたが、活動中にこども未来課より本町児童館を新しく設置するにあたり、高校生の意見を聞いてほしいという依頼があった。

この依頼から、他課でも青少年をターゲットとしたアンケートの需要があるのではないかと考え、活動中でのアンケート実施について検討することとし、政策研究チームの活動の中でアンケートを実施することの利点について考えた。

まず、アンケートは用紙を配布して回収するという手法が多く、選択肢から回答を選ぶため、限られた回答が多いのではないかと感じた。また、アンケートの対象も青少年をターゲットにしたものは少ないと感じた。そこで、私たち政策研究チームでは、各班で高校生や大学生等と定期的なミーティングを実施していたことから、関係性が築けているという強みを活かすことで、アンケートを実施すれば、より踏み込んだ回答を得られるのではないかと考えた。以上の理由より、他課にもアンケートの実施について周知することとし、依頼のあったアンケートを実施した。

アンケートの対象者は、高校生班の活動に協力してくれている朝霞西高校の漫画研究部の生徒、埼玉県立朝霞高等学校（以下、「朝霞高校」という）の生物部・地学部の生徒及び大学生班のワークショップに参加している大学生等のメンバーとした。

なお、朝霞高校については、本来であれば朝霞西高校と同様に高校生班で研究テーマに沿った活動を行う予定だった。6月下旬に朝霞高校を訪問し、教頭先生とお話しする機会を設けてもらった。朝霞西高校の時と同様に活動の主旨を説明し、生徒の協力を依頼したところ、部活動単位での協力をしてもらえることとなり、生物部・地学部の生徒に参加してもらうこととなった。7月下旬に初回の活動を行ったが、その活動で出てきた意見から活動テーマを抽出することが難しく、11月中旬までという活動期間では、活動がタイトなスケジュールとなり、生徒の負担が大きくなってしまふことが想定された。また、高校生班としても朝霞西高校の活動も始まっており、実際に活動テーマを決めたとしても、両校の活動を並行して行うための時間を確保することが難しかったため、朝霞高校はアンケートの実施を活動の内容とした。これに関しては、2つの高

校の活動を考慮した上で活動テーマの個数を設定するなど、しっかりと計画を立てた上で進めていけば、両校の活動を並行して行うことができたと考えられ、高校生班で大いに反省すべき点であったと言える。

こども未来課のアンケートについては、活動初期の段階で実施。その後、各課へアンケート実施にあたり、案内の通知を出したところ、シティ・プロモーション課及び図書館より新たに依頼があった。なお、こども未来課のアンケートについては高校生だけを対象としている。

2) 内容

こども未来課からのアンケート

日 時	平成30年7月12日 13時30分～16時30分
場 所	朝霞西高校 家庭科講義室
出席者	高校生 15人 市職員 5人
内 容	<p>朝霞西高等学校へ訪問し、漫画研究部学生と座談会。</p> <p>2つのグループに分かれて意見を聞いた。</p> <p>&lt;グループ1（7人）&gt;</p> <p>普段遊ぶ場所は、ラウンドワン、カラオケ、スタバ、ららぽーと、レイクタウン。児童館については、新座市の児童館なら今でもたまに遊びに行く。児童館で、バスケット・バドミントン・卓球等で遊ぶが、児童館が小さい子が遊べるような仕様になっているので、高さが足りない。もっと高さがほしい。ボードゲームとかも、将棋・オセロ等の高校生でも遊べるやつがあればいい。飲食持ち込みできるような、自習室があったら利用したい。Wi-Fi や携帯充電できる場所があったら、結構行くと思う。充電している間に、児童館で遊んだりとかできて楽しそう。</p> <p>&lt;グループ2（8人）&gt;</p> <p>（鈴木主任・乗原主事）</p> <p>普段遊ぶ場所は、友達の家が多い。朝霞駅の駅ナカでプラプラすることはある。本屋やカフェなど。青葉台公園で遊ぶこともある。遠出する時はラウンドワンやららぽーと。</p> <p>児童館については、高校生には使いにくい。小さい子の邪魔になるとってしまう。年齢層別の部屋があると使いやすい。フリーWi-Fi や充電ができるるととても便利。自習スペースがあったら利用する。試験勉強をする場所があまりない。児童館を利用する時間帯は長くても19時くらいまで。また、子供連れの親のためのくつろげる何か（カフェ、足湯など）があると利用してもらえないのではないか。</p>

こども未来課からのアンケート

日 時	平成30年8月22日 10時00分～12時00分
場 所	朝霞高校 物理室
出席者	高校生 14人 市職員 4人
内 容	<p>朝霞高校へ訪問し、生物部・地学部と座談会。</p> <p>2つのグループに分かれて意見を聞いた。</p> <p>&lt;グループ1（7人）&gt;</p> <p>※こども未来課依頼の意見聴取内容を聞き取り</p> <p>① 放課後の過ごし方は、学校・家庭以外で居場所はあるか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・丸亀製麺（安いから）</li> <li>・自宅付近のヤオコー（ジュースや菓子 安いから）</li> <li>・ラウンドワン（遊びに アクセスが悪いためあまり行かない）</li> <li>・寄り道はあまりしない</li> <li>・友だちと外で会う必要があまりない（学校・SNSで繋がるため）</li> </ul> <p>② 児童館のイメージは？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館はどこにあるか知っているか？</li> <li>知っている（多数）</li> <li>知らない（市内 他）</li> <li>・利用している、していないのはなぜ？</li> <li>現在利用している なぜ（2名 卓球、漫画 無料でできる、全巻そろっている）</li> <li>利用していない（多数 場所を知らない、高校生ではなく小・中学生が行くところのイメージ）</li> </ul> <p>③ どんな設備や備品があればいいと思う？</p> <p>ネット環境のあるPC、コンセント（充電用）、無料Wi-Fi、 空調（当然あるとは思うけど）、家ではやれない大きさの遊具（卓球台・ビリヤード台）、 家では買えない高価な遊具</p> <p>④ 試験勉強や宿題・自習はどこで行っている？ 家など できるスペースがあったら児童館を利用する？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用しない（図書館を利用する、子どもの声がうるさいため集中できない）</li> <li>利用する（防音設備のあるスペース、漫画もあるから息抜きできる）</li> </ul> <p>⑤ ダンスや楽器や楽器の演奏ができるとしたら児童館を利用する？</p> <p>周りで利用しそうな人がいるか？ いない</p> <p>⑥ 友達とおしゃべりや打合せ、読書などができるスペースがあったら児童館を利用する？</p> <p>漫画の読めるスペースがあれば利用する</p> <p>⑦ 何時まで開いていれば利用する、普通の帰宅時間は？</p> <p>19時頃（それ以降開館していても利用しない、家に帰らないと怒られる）</p>

## こども未来課からのアンケート

- ⑧ 学校が休みの日（土・日）に児童館を利用したいと思う？  
思わない（わざわざ家の外にでない）
- ・休日の過ごし方は？（ベッドの中でゲームして過ごす）
  - ・何時から開館してほしいか？（9時頃から）
- ⑨ スマホやノートパソコン、タブレットなどは持ち歩いている？  
持ち歩いている
- ・Wi-Fiは使ってる？（ポケットWi-Fiは持っていない、フリーは使う）
  - ・館内でのスマホやゲーム機の使用制限（持ち込み禁止）は賛成か反対か？  
（制限あっても違和感ない コンビニのフリーWi-Fi も時間制限があるため・ただ使用制限があるとその制限内のみしか在館しないと思う）
  - ・携帯が充電できることは、重要？（使用できれば利用する）
- ⑩ どのような催し物やイベントがあったら利用するか、そのイベントをどのような方法だったら知り得るか？
- イベント（卓球大会、映画会（アニメ ドラえもん等）、  
学校での配布物（半ば強制的に見るものでなければ見ない）、駅での掲示物、  
回覧板は割と見る（家で暇なため）、広報誌はよく見る（志木市民）、  
紙でほしい（ネットだとサイトで見に行くまでが面倒）
- ・自分たちでイベントの企画や運営はできると思うか  
カードゲーム（デュエマ、遊戯王、ポケカ等）大会であればやりたい  
（やれる場所が少ないため）

### その他

- ・カードゲームができるスペースがほしい（禁止してほしくない、盗難が多いため取締りをしっかりやってほしい）
- ・ららぽーとほしい
- ・映画館ほしい
- ・児童館に児童相談室があってほしい（まず利用はしないと思うが、あるだけでいつでも行ける相談場所がある安心感があるため）
- ・「児童館」という名前だと高校生は行きづらい。どうしても小学・中学生以下が利用するイメージがあるため
- ・子ども（5歳以下）を預かってくれる制度があれば、利用しやすいのでは。  
（市外の児童館ではそうだった。保育士がいた。）
- ・市内に5つも児童館があるなら、新しい児童館はいらないのでは。新しく作るより、既存の児童館を改善した方がいいと思う。

### <グループ2（7人）>

※こども未来課依頼の意見聴取内容を聞き取り

- ・放課後の過ごし方  
部活がなければ16時ごろには家に帰る。部活があるときは19時に帰る。寄り道はあまりしていない様子。

## こども未来課からのアンケート

- 児童館のイメージ

小学生が行く場所。無料でマンガが読める。催し物をやっている。小さい頃に行ったことがある。高校生が行くイメージはない。家の近くにない。遠いと親の許可が下りない。18歳まで利用できることを知らなかった。児童館という名前じゃなかったら高校生も行きやすいのでは。

- どんな設備があれば児童館を利用するか

友達と話しながら勉強できる自習室。広い机があるとよい。図書館は静かすぎる。大学生が受験勉強をしているため気を使う。

コンセント、充電器、USB、Wi-Fiがあるとよい。Wi-Fiは利用するときに会員登録が必要で億劫に感じる。フリーWi-Fiはセキュリティの面で心配。

- ダンスや楽器の演奏ができるとしたら児童館を利用するか

ドラムの練習がしたい。何かの発表会や定期演奏会に利用できるのではないかな。

- 休みの日の過ごし方

家で過ごす。あまり外に出たくない。バスや電車に乗るにはお金がかかるため、遠出はなかなかできない。駅の近くにあっても休みたいから行かない。

出かける場合は、志木の丸井やららぽーと、映画を見に行くときは東武練馬。

シティ・プロモーション課からのアンケート

日 時	平成30年10月19日（金） 13時00分～16時00分
場 所	朝霞西高校 家庭科講義室
出席者	高校生 9人 市職員5人
内 容	<p>政策研究チーム青少年へのアンケート項目</p> <p>1) 情報収集手段は何ですか。(よく使う SNS、よく見るサイトなど)          Google、Yahoo!知恵袋、LINE マンガ、YouTube、LINE NEWS (←信憑性がないので気になることは後でネット検索)、Twitter、Instagram</p> <p>2) いま、周りではやっているものは何ですか。          ペン立てになるペンケース、LINE たまごっち、TikTok、TWICE、バンタン (防弾少年団)、チーズドッグ、キンプリ、韓国系は何でも人気、PS4、スマホゲーム (モンスター、ぽけGO)</p> <p>3) 自分がいま気になっているもの、ことは何ですか。          本棚 (おしゃれで実用的な欲しい物がある)、服、局、エアブラシ、彼女のこと、声優、日本の経済について</p> <p>4) 自分がいま頑張っていることは何ですか。          マンガ描くこと、勉強、筋トレ、犬の散歩、進路先調査、ヴァイオリン、アルバイト</p> <p>5) 市のキャラクター、キャッチフレーズを知っていますか。          ぽぽたんは知っている。キャッチフレーズは知らない。          両方知っている子も1人いた。</p>

シティ・プロモーション課からのアンケート

日 時	平成30年11月8日 16時00分～17時00分
場 所	朝霞高校 物理室
出席者	高校生 10人 市職員 3人
内 容	<p>政策研究チーム青少年へのアンケート項目</p> <p>1) 情報収集手段は何ですか。(よく使うSNS、よく見るサイトなど) Twitter、Instagram、YouTube、ニコニコ動画、Wikipedia、SCP、Yahoo!知恵袋</p> <p>2) いま、周りではやっているものは何ですか。 乃木坂、フェイト、スマブラ、キンプリ、TWICE、防弾、料理、米津玄師、今から俺は、モンスター、パズドラ、スタバの新作</p> <p>3) 自分がいま気になっているもの、ことは何ですか。 英語の先生、スマブラ新作、EXO、進路</p> <p>4) 自分がいま頑張っていることは何ですか。 勉強(英語・物理・古典)、漫画作成、ケータイゲーム(ランキング上位)、ゲームのクエスト、絵(マンガ系のイラスト)</p> <p>5) 市のキャラクター、キャッチフレーズを知っていますか。 ぽぽたん→知っている、むさしのフロントあさか→5人知っている</p>

シティ・プロモーション課からのアンケート

日 時	平成30年11月1日（月） 15時00分～17時00分
場 所	朝霞市役所 502会議室
出席者	大学生等 3人 市職員 3人
内 容	<p>政策研究チーム青少年へのアンケート項目</p> <p>1) 情報収集手段は何ですか。(よく使うSNS、よく見るサイトなど) インターネット、SNS (Twitter、Facebook)、Google、LINE、スマートフォン ※地域の活動やイベント開催をされている方は Facebook の利用率が年代を問わず多いためよく利用する</p> <p>2) いま、周りではやっているものは何ですか。 インスタグラム、ゲーム、機能性重視の商品 (使いやすいペンなど)</p> <p>3) 自分がいま気になっているもの、ことは何ですか。 食のイベント、農業祭、イベント事業の立ち上げ、商店街の(地域)活性化、謎解きイベント、YouTube</p> <p>4) 自分がいま頑張っていることは何ですか。 ボランティア、アルバイト、資格取得の勉強、大学での勉強、よさこい、人脈を広げるための行動、夢を叶えるために遊びよりも勉強に力を入れている</p> <p>5) 市のキャラクター、キャッチフレーズを知っていますか。 ぽぽたん→全員知っている。 むさしのフロントあさか→知っている：1人 知らない：2人</p>



## 図書館からのアンケート

②直近3ヶ月の間に、市立図書館を利用しましたか？

a) はい 1人 b) いいえ 8人

③あなたが市立図書館を利用する目的は何ですか？（複数回答可）

a) 本・雑誌を借りるため 6人 b) CD・DVDを借りるため 0人

c) 本や雑誌・新聞を読むため 2人

d) CDやDVDなどを視聴するため 0人

e) 調べ物をするため 2人 f) 勉強するため 2人

g) 行事・イベントに参加するため 0人

h) その他（近くの図書館には飲食店が入っていて、その店目当てに行く）

④市立図書館でどのような行事・イベントを実施して欲しいですか？

（講演会などに来て欲しい人やイベント内容など）

- ・古本のフリマ（図書館の古い本でも、来場者の売りたい本でも）

- ・本を借りなくても楽しめるように、本の内容（図鑑とか）を一部展示等で見えるようにしてほしい

図書館からのアンケート

日 時	平成30年11月8日 16時00分～17時00分
場 所	朝霞高校 物理室
出席者	高校生 10人 市職員 3人
内 容	<p>○青少年から意見を聴取したい案件</p> <p>(1) 読書習慣について</p> <p>①あなたは本を読むことが好きですか？  a) 好き 7人 b) 嫌い 1人 c) 好きでも嫌いでもない 1人</p> <p>② ①の回答理由（好き：絵が好き・時間が潰せる・想像できる・ストーリーが好き・知識が増える、嫌い：集中力が続かない・時間がもったいない・本に拒否反応がある、どちらでもない：あってもなくてもいい、興味がない）</p> <p>③直近3ヶ月の間に、何冊の本を読みましたか？（ ）冊位  0冊 2人、1～5冊 3人、6～10冊 2人、11～15冊 1人、  数え切れない2人</p> <p>(2) 書籍利用について</p> <p>①日頃、本に関する情報をどこから得ていますか？（複数回答可）  a) 学校図書館 3人 b) 市立図書館 0人 c) 書店 7人  d) テレビ 1人 e) 新聞・雑誌 0人 f) インターネット 6人  g) 家族 1人 h) 友人・知人 1人  j) その他（本に挟まっているチラシ）</p> <p>②日頃、情報収集に何を利用してありますか？（複数回答可）  a) 書籍 2人 b) テレビ 10人 c) 新聞・雑誌 2人  d) インターネット 10人 e) SNS 5人 f) 家族 1人  g) 友人・知人 8人  h) その他（携帯アプリ）</p> <p>(3) 図書館利用について</p> <p>①本を読むとき、どのようにして手に入れることが多いですか？  a) 買う 8人 b) 市立図書館で借りる 0人  c) 学校図書館で借りる 1人 d) 友だちなどに借りる 1人  e) 家にあるものを読む 0人  f) その他（ ）</p>

## 図書館からのアンケート

②直近3ヶ月の間に、市立図書館を利用しましたか？

a) はい 5人 b) いいえ 5人

③あなたが市立図書館を利用する目的は何ですか？（複数回答可）

a) 本・雑誌を借りるため 3人 b) CD・DVDを借りるため 1人

c) 本や雑誌・新聞を読むため 0人

d) CDやDVDなどを視聴するため 1人

e) 調べ物をするため 1人 f) 勉強するため 5人

g) 行事・イベントに参加するため 0人

h) その他（寝に行く、展示を見に行く）

④市立図書館でどのような行事・イベントを実施して欲しいですか？

（講演会などに来て欲しい人やイベント内容など）

・図書館の本の大売出し

・有名な著者を招いたイベント

図書館からのアンケート

日 時	平成30年11月1日（月） 15時00分～17時00分
場 所	朝霞市役所 502会議室
出席者	大学生等 3人 市職員 3人
内 容	<p>○青少年から意見を聴取したい案件</p> <p>(1) 読書習慣について</p> <p>①あなたは本を読むことが好きですか？  a) 好き 3人 b) 嫌い 0人 c) 好きでも嫌いでもない 0人</p> <p>② ①の回答理由（好き：小説など好きだから・小説など読み始めると止まらなくなる楽しさがあるから、好きでも嫌いでもない：内容により読むもの読まないものがある）</p> <p>③ 直近3ヶ月の間に、何冊の本を読みましたか？（ ）冊位  2冊 1人、3冊 2人</p> <p>(2) 書籍利用について</p> <p>①日頃、本に関する情報をどこから得ていますか？（複数回答可）  a) 学校図書館 1人 b) 市立図書館 1人 c) 書店 1人  d) テレビ 3人 e) 新聞・雑誌 0人 f) インターネット 3人  g) 家族 1人 h) 友人・知人 1人  j) その他（電車広告）</p> <p>②日頃、情報収集に何を利用してありますか？（複数回答可）  a) 書籍 1人 b) テレビ 3人 c) 新聞・雑誌 0人  d) インターネット 3人 e) SNS 3人 f) 家族 1人  g) 友人・知人 2人  h) その他（ ）</p> <p>(3) 図書館利用について</p> <p>①本を読むとき、どのようにして手に入れることが多いですか？  a) 買う b) 市立図書館で借りる  c) 学校図書館で借りる d) 友だちなどに借りる  e) 家にあるものを読む  f) その他（ ）  a) 1人  ※他複数回答者2人 a) 2人 b) 2人 c) 2人 d～f) 0人</p>

## 図書館からのアンケート

②直近3ヶ月の間に、市立図書館を利用しましたか？

a) はい 3人 b) いいえ 0人

③あなたが市立図書館を利用する目的は何ですか？（複数回答可）

a) 本・雑誌を借りるため 3人 b) CD・DVDを借りるため 0人

c) 本や雑誌・新聞を読むため 0人

d) CDやDVDなどを視聴するため 0人

e) 調べ物をするため 3人 f) 勉強するため 1人

g) 行事・イベントに参加するため 0人

h) その他（ ）

④市立図書館でどのような行事・イベントを実施して欲しいですか？

（講演会などに来て欲しい人やイベント内容など）

・賞をとった作品などをさくさん用意してほしい

・子どもや大人のためのイベントだけでなく、高校生～大学生くらい向けのイベント（若者に本を紹介してもらうなど）

### 3) まとめ

2) で述べたとおり、3つの部署より依頼されたアンケートを実施した。以上の活動報告を受け、今回のアンケート実施の経緯を踏まえ検証する。

今回の活動の中でアンケートを実施することにより、内容の濃い回答を得られたかについて検証した。

今回のアンケート実施は、高校生班・大学生班のそれぞれの活動の中で実施したが、経緯で述べたとおり、アンケート実施に至るまでに頻繁にコミュニケーションを取っていたため、アンケート実施中に一部話し合いの場が出てきたり、他の参加者の回答を基に新しい回答が生まれたりするなど、連鎖反応があった。このことから、より踏み込んだ内容の濃い回答が得られたのではないかと考える。

また、アンケートの依頼があった各課から、青少年の感じていることを聞けて大変参考になったという声や、今回のアンケート結果を来年度実施予定の事業に反映していきたいといった声をもらうことができた。

ただし、今回のようなアンケート実施には欠点もある。

まず欠点としてあげられるのが、実施の困難さである。今回は、高校生班・大学生班でそれぞれ定期的にミーティングを行っていたため実施できたが、普段はそういったミーティングを行っていないので実施することができない。また、同時にコミュニケーションを取れる人数が限られてしまい、得られる回答も少なくなってしまう。

次に、アンケート自体に費やす時間が長いことである。今回のようなアンケートを実施するためには、対象者と会話しながら回答を得ていくことが必要であり、通常のアンケートよりも回答を得るまでに時間が掛かってしまう。

以上のことから、アンケートを実施し今回得られた回答は内容の濃いものとなったが、実施状況に定期的にミーティングを行っていたという特殊性があり、同様の取組を継続的にしていない限り次回に繋げることは難しいと考える。

### 第3章 提言

今年度、政策研究チームとして「青少年の声を生かした朝霞のまちづくりを考える ～賑わいの創出など新しい朝霞をつくるために～」をテーマに様々な人の協力を得て活動した。

青少年と活動し、意見を聴いたり、一緒に考えたり、朝霞について伝えられる場を設けられたことは、まちづくりにおいて大変貴重な機会になったと考える。

そのため、私たち政策研究チームはこのように青少年と関りをもつ活動は継続していくべきであると提言する。

活動を継続すべきと考えた3つの理由を次のとおり記す。

#### ①朝霞に対する愛着心の醸成

今年度参加してくれた青少年は朝霞在住もしくは在学、在勤と少なからず朝霞に関わりを持ち、朝霞で時間を過ごしている方たちであった。

当然、朝霞に詳しい方もいたが、大半は朝霞がどんなところなのか、イベントは何をしているのか、どこに何があるのか、自分の生活エリアのことは知っていてもその他の朝霞のことは正直わからないという方が多かった。

このような青少年に朝霞を知ってもらい、朝霞に愛着をもってもらうことで、自分で住む街を選ぶ際に朝霞を選択する青少年を増やすことができるのではないだろうか。

そこで、朝霞を知ってもらい、愛着をもってもらうことを目的のひとつとして活動の中で朝霞について情報を提供し、一緒に体感することが重要であると考える。

また、そのためには継続的に活動を実施していく必要があり、それにより朝霞に愛着をもつ青少年を年々増やすことが賑わいの創出につながるであろう。

#### ②直接対話によるニーズの把握

自治体が青少年と直接対話ができる場は限りなく少なく大変貴重である。アンケートでは意見をもらえるが、その意味を文章から推測することになり場合によっては間違ったとらえ方をしてしまうことも考えられる。そのため、直接確認や意見をさらに掘り下げることができるこのような活動をすることは大変有意義である。

青少年に質問した際に、私たちが想定していない回答が返ってきたことがあった。このことから、私たちと青少年の価値観は違うと感じた。例えば、私たちの価値観だけで事業を実施しても青少年に受け入れてもらえない。また、

共感してもらえないため、直接対話して意見を聴くことは青少年の求めているものを認識するためにも必要なことである。

### ③長期的な目標を見据えた活動

賑わいの創出や新しい朝霞をつくるためには、青少年に集まってもらい話し合いをするのが最初ではなく、①のように青少年に朝霞について知ってもらうことや、朝霞に興味・愛着をもってもらうことが第一段階ではないか。

また、まちづくりは少人数でできるものではなく多くの人の参加によって形作られていくものである。朝霞に愛着を持つ青少年を増やすことで、より活性化したまちづくりが展開できるのではないか。

実際に青少年と協働してまちづくりを成功させた先進事例として知られている福井県鯖江市のJK課では鯖江市市民活動によるまちづくり推進条例の制定から活動開始まで約10年の年月を要した。

そのため長期的な目標を据えて活動を継続していくべきと考える。

上記3つの理由から青少年と共に朝霞のまちづくりを考える活動は継続的に進めるべきと考え、これを提言する。

私たち政策研究チームのように単年の活動では、青少年との関係性が出来上がってきた頃に終了となってしまふ。そのため、目的ごとに担当課を決め継続的に活動したほうがよい。

青少年の意見はどれも斬新で面白くまちづくりに反映するべきである。また、活動を通じ職員も成長することで、「私が暮らしたつづけたいまち朝霞」を実現できるのではないかと考える。

今後も朝霞のためにこのような活動が継続されることを願う。

## あとがき

青少年の声を生かした朝霞のまちづくりを考える～賑わいの創出など新しい朝霞をつくるために～というテーマのもと、実際に高校生から大学生等の青少年と関わりをもち、意見を出し合い、一緒に企画立案したり、実行したりといった経験は、日常の業務を超えた貴重な経験となりました。限られた期間の中で、青少年と一から関係を築き、話し合い、その内容を形にしていくという作業は難しさもありましたが、メンバー同士が今までの業務で培ってきた各分野の知識を活かし、力を合わせて実施してきたという達成感を得ることができました。何より、青少年の自由で柔軟な発想力や若いエネルギーはとても刺激的で、私たち自身とても楽しく有意義な経験ができ、今後の業務において貴重な財産になると感じています。政策研究チームは多くの学び、経験を得る良い機会となりました。今後、この取組や活動の状況が庁内全体に周知され、次年度以降のメンバーにはより積極的に活動に取り組んでいただくことを願います。

最後に、ご協力いただきました朝霞高校の皆様、朝霞西高校の皆様、東洋大学の皆様、参加者の生徒・青少年の皆様、また、メンバーを活動に送り出していただいた所属課の皆様及び関係各課の皆様に深く感謝申し上げます。

ありがとうございました。

# 政策研究チーム活動アンケート〈高校生班〉

①あなたの学年、性別は？（○してください）

合計 11人

（内訳：1年 3人、2年 8人、男 5人、女 6人）

②今回の活動で楽しかったこと、良かったことは？

- ・おやつ、ピザ、飲み物が美味しかった
- ・情報を集めていく中で、朝霞についてより知ることができた
- ・今まで知らなかった朝霞のお店を知ることができた
- ・自分が考えた意見や思った意見をしっかり言えた
- ・お店の人と意見を交換し合えた
- ・フロの仕事を見れた
- ・テレビに映れた
- ・ボランティア参加により、直接市民の人と関わったり、普段経験できないことが体験できた
- ・色々な場所等を自分の目で見れた
- ・朝霞市の探索
- ・タウンウォッチングやドリームフェスタが楽しかった
- ・締め切りの大切さを改めて実感した
- ・何か1つのことを成し遂げることができ、自信がついた
- ・自分たちのアイディアが形になった
- ・部員全員で一丸となって朝霞市を盛り上げようと活動できた

③今回の活動で大変だったこと、反省点は？

- ・情報収集、地図の作成、移動時間、店舗巡り
- ・もっとしっかり考えられれば良かった
- ・締め切りギリギリになってしまった
- ・パフェをどんな形にするか考えたこと
- ・お客さんの呼び込み
- ・インタビュー時にカメラ目線で元気に喋りたかった
- ・先輩たちに責任を押し付けてしまった
- ・もっと積極的に行動すれば良かった
- ・原稿に手を付けるのが遅れた
- ・漫画作成
- ・情報共有がしっかりできていなかった
- ・計画的にできなかった
- ・仲間に迷惑をかけてしまった

④その他（意見・感想等何でも言いたいことを書いてください）

- ・ご馳走様でした、ピザ美味しかった、ほぼたんパフェ美味しかった
- ・普通の高校生では味わえない貴重な体験をさせてもらった、ありがとうございました、大変なことを乗り越えることができた
- ・楽しかった
- ・進むのが遅い班にはもっと厳しくても良かったと思う、責任感を持たせた方がいい
- ・自分たちの考えや意見が形になり、世間に出るのはすごい良いなと思った

# 政策研究チーム活動アンケート〈大学生班〉

## ①あなたの年齢は？（○してください）

20～22歳 女性 2人

## ②今回の活動で楽しかったこと、良かったことは？

- ・ 普段話す機会のない職員とアットホームな雰囲気です話せた
- ・ 同世代の方と朝霞市について考えることができた
- ・ 地域の人々と関わりたいと思っているので、新たな視点をもつ良い機会となった
- ・ 普段関りのない年齢の方と意見交換・対話ができ、刺激を受けた
- ・ 考え方や地元への愛などたくさん学べた、朝霞市の活動や地元の活動に活かしたい

## ③今回の活動で大変だったこと、反省点は？

- ・ 継続して参加できる方が少なく、話し合いの場があたたまるまで時間がかかり、話が盛り上がるころに終わってしまうのが残念だった
- ・ 何らかしら「形」になるものを残せたら良かったのでは
- ・ 自分の考え方の狭さに気づき、様々な視点から考えるようにした。自分の能力として高められるようにしたい

## ④その他（意見・感想等何でも言いたいことを書いてください）

- ・ 職員や周りの参加者のサポートで自分の思っていることを伝え、共有できて嬉しかった
- ・ これからも朝霞市の活動にどんどん参加したい
- ・ 高校生班のように目に見える形で成果があると、もっと来てくれる方がいたのでは
- ・ 忙しい人も多いため、活動量が増えると参加率の低下が考えられるが、「経験」に惹かれる方はいると思う
- ・ たくさん話を伺え、たくさん話ができ、とても貴重な機会となった。終わるのが残念

平成30年度 彩夏祭  
8月4日（土）インタビュー結果

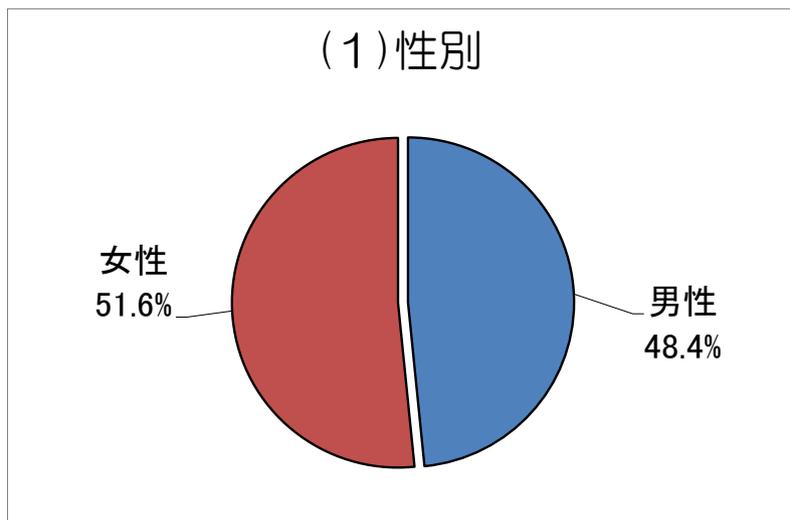
朝霞市 政策研究チーム（大学班）

【インタビュー内容】

- あなたが市長になったらどのようなことがしたいですか？
- 実施期間 平成30年8月4日（土）11：30～14：00まで
- 調査対象者 彩夏祭来場者のうち若年層の方
- 回答者数 126名

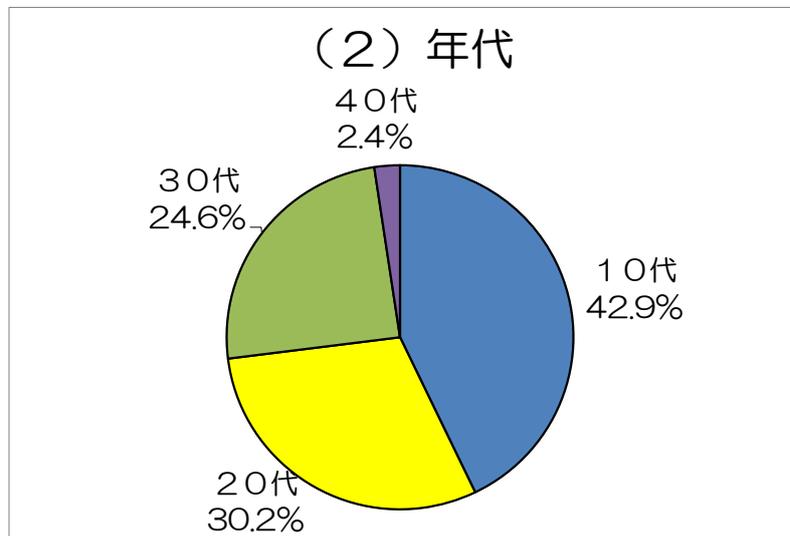
(1) 性別

性別	人数	構成比 (%)
男性	61	48.4
女性	65	51.6



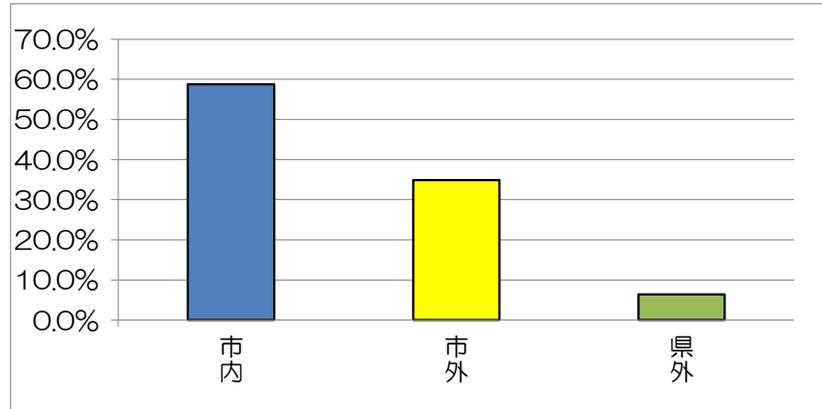
(2) 年代

年代	人数	構成比 (%)
10代	54	42.9
20代	38	30.2
30代	31	24.6
40代	3	2.4



(4) 地域

地域	人数	構成比%
市内	74	58.7
市外	44	34.9
県外	8	6.3



※ 構成比率は、回答者数を基数として百分率（%）で表示しています。百分率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。また、複数回答の場合は、構成比率の合計が100%を超える場合があります。

※ 自由記述の表現はできる限り原文のまま記載していますが、一部表現を修正しているところがあります。

問1 あなたが市長になったらどんなことがしたいですか？（回答件数131件）

回答内容	回答件数	構成比 (%)
朝霞駅に急行が停まるようにしたい	25	19.1
商業施設を増やしたい	16	12.2
公園・ジム・アスレチックを増やしたい	16	12.2
映画館・図書館・博物館を増やしたい	8	6.1
子育て支援	7	5.3
祭の活性化	7	5.3
学校にクーラーをつける	5	3.8
医療費にお金をかける	5	3.8
彩夏祭でのゴミ箱を増やす	5	3.8
バスを利用しやすくする	3	2.3
外灯を増やす	3	2.3
住みやすい街にする	2	1.5
教育費にお金をかける	2	1.5
女性の働きやすい街にする	2	1.5
駅の駐輪場を改善する	2	1.5
黒目川の遊歩道を整備	2	1.5
駅前を活性化	2	1.5
特になし	4	3.1
その他	15	11.5

【その他のご意見】

- 街整体的にエアコンを増やす。（10代 男性）
- 税金を安くする。（30代 男性）
- 虫が多くて嫌なので、朝霞西高校の裏の木を切る。（10代 女性）
- コンビニで印鑑証明とか。より便利にする。（40代 男性）
- 道路の安全対策を推進する。歩道を設置し、自転車専用レーンも設置する。（30代 男性）
- 遊ぶ場所を増やす。（10代 女性）
- 水害に強いまちづくりをしたい。（40代 男性）
- 市の意見箱をつくる。（10代 女性）
- 高校生でも、ボランティアに参加しやすい街にしたい。（10代 女性）
- 朝霞を活性化したい。（20代 男性）
- 常に目玉となるようなものをつくる。（20代 女性）
- スポーツ事業にお金をかける。バリアフリー化を推進。（20代 男性）
- 彩夏祭での給水所を増やす。（20代 女性）
- 市の施設を借りれることをもっと知って貰えるようにしたい。（20代 男性）
- 結婚して子育てをしているが、聞かないとわからないことが多いので、もっと知って貰える方法を考えたい。（20代 男性）

問2 朝霞市の印象について教えてください。（回答件数96件）

回答内容	回答件数	構成比 (%)
自然が多い	14	14.6
不審者が多い・治安が悪い	11	11.5
商業施設や飲食店が多い	8	8.3
水が綺麗	7	7.3
給食が美味しい	7	7.3
都心に近い・アクセスが良い	6	6.3
子どもが遊ぶところや公園が多い	5	5.2
彩夏祭・よさこい	5	5.2
街並みが良い	4	4.2
道が広い	3	3.1
公共施設が新しい	2	2.1
公園や遊ぶところが少ない	2	2.1
やんちゃな人が多い	2	2.1
駅の周りが栄えている	2	2.1
地元愛が強い人が多い	2	2.1
活気がある	2	2.1
住みやすい	2	2.1
その他	12	12.5

【その他のご意見】

- ・マンションが多い。（10代 女性）
- ・平屋がある。（20代 男性）
- ・駅の近くに公共施設がある。（20代 男性）
- ・家賃が安い。（20代 男性）
- ・自衛隊がある。（10代 女性）
- ・遊ぶ場所を増やす。（10代 女性）
- ・ずっと住んでいる人が多い。（20代 女性）
- ・1人暮らしに良い街。（20代 女性）
- ・熱い。（10代 男性）
- ・ママ友で集まれる場所が多い。（30代 女性）
- ・保育料が高い。イベントが多く、プールも多い。（30代 男性）
- ・にんじん。（10代 女性）
- ・坂が多く、住宅ばかり。（10代 女性）
- ・意外と田舎。（20代 男性）

問3 友人に朝霞市のことを紹介するとしたら、どのように紹介しますか？  
 (回答件数58件)

回答内容	回答件数	構成比 (%)
給食が美味しい	8	13.8
都心に近くてアクセスが良い	7	12.1
にんじん	6	10.3
外国人が多い	6	10.3
坂が多い	6	10.3
彩夏祭・花火	6	10.3
住みやすい	5	8.6
自然が多い	2	3.4
静か	2	3.4
公園が多い	2	3.4
和光市駅の次	2	3.4
その他	6	10.3

【その他のご意見】

- ・子どもが多い。(20代 男性)
- ・スーパーが程良くある。(20代 男性)
- ・シンプルな街。(10代 女性)
- ・田舎。(10代 女性)
- ・和光と志木の間。(10代 女性)
- ・自衛隊がある。(40代 女性)

問4 朝霞市のおすすめは何ですか？(回答件数3件)

回答内容	回答件数	構成比 (%)
都会でもなく田舎でもなく暮らしやすいところ	1	33.3
青葉台公園	1	33.3
公園通り	1	33.3

問5 朝霞市が「もっとこうだったら良いのに」と思うことはありますか？  
 (回答件数128件)

回答内容	回答件数	構成比 (%)
外灯の増設	14	10.9
ショッピングモールの新設	12	9.4
ゲームセンターの新設	9	7.0
スポーツや花火のできる場所(公園など)を増やす	9	7.0
虫が多くて道も暗いので木を減らす	7	5.5
駅の駐輪場の増設	7	5.5
坂下に駅を造る	7	5.5
バスケットコートの新設	7	5.5
朝霞駅に急行が停まって欲しい	5	3.9
映画館の新設	5	3.9
遊びに行く・出掛けるところが欲しい	4	3.1
商店街ごとのお祭りの活性化	3	2.3
町内会の繋がりを強化	3	2.3
彩夏祭に出場する鳴子チームの増加	2	1.6
プリクラを撮れるところが欲しい	2	1.6
服屋さんの充実	2	1.6
歩道を造る	2	1.6
飲み屋を増やす	2	1.6
バスを便利にして欲しい	2	1.6
郷愁を感じられるものをつくる	2	1.6
坂を少なくする	2	1.6
図書館の充実	2	1.6
その他	18	14.1

【その他のご意見】

- ・道が真っ直ぐで広くなると良い。(20代 男性)
- ・遊具のある公園を増やして欲しい。(20代 女性)
- ・市役所、スーパー、病院が遅くまでやっていて欲しい。(30代 女性)
- ・食料品以外の買い物ができる場所が出来たら良い。(30代 男性)
- ・駅前に賑やかさが必要。色々なところにウォーターサーバーが欲しい。(20代 女性)
- ・公園に日よけが欲しい。(30代 男性)
- ・子供だけでいける遊び場(児童館など)が欲しい。(30代 女性)
- ・コンパクトシティ化。(30代 男性)
- ・イベントカレンダーがあったら良い。(30代 男性)
- ・体育館にクーラーを設置して欲しい。(10代 女性)
- ・朝霞台のホームにエレベーターを造って欲しい。(30代 女性)
- ・駅まわりがもっと子どもに優しいと良い。(30代 男性)
- ・道が真っ直ぐで広くなると良い。(20代 男性)
- ・1~2歳の時の保育料が高かったのが安くなると良い。(30代 男性)
- ・水道管が破裂した。水に弱いのをなんとかして欲しい。(40代 男性)
- ・勉強できるところが欲しい。(10代 女性)
- ・不満はない。(10代 女性)

問6 朝霞市の情報の入手方法は何ですか？（回答件数14件）

回答内容	回答件数	構成比 (%)
Twitter	7	50.0
Facebook	6	42.9
知人から	1	7.1

【その他のご意見】

- 遊ぶ場所は基本都内。（10代 女性）他同意見6件
- 朝霞市大好き。（10代 女性）他同意見2件
- 困っていることは特にない。暑いことくらい。（10代 男性）他同意見1件
- 税金が高くて困っている。（20代 女性）
- 買物するとしたらマルエツ。遊びに行くのは市外。（30代 男性）
- 彩夏祭関連で来た。（20代 女性）
- いずれ朝霞に住みたい。（20代 男性）
- 朝霞は彩夏祭で知った。（20代 女性）
- Facebookがわりと面白くてよく見てる。どんどん発信したらよいと思う。見てる人が少ないのもっと知ってほしい。（20代 男性）